

小平市民活動支援センターあすぴあ

2023年度 指定管理事業報告

2024年5月

指定管理者

特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク

目次

第1章 支援センター利用に関する事業.....	1
第1節 利用登録の実績.....	1
第2節 施設利用の実績.....	1
第2章 市民活動に関する学習の機会及び市民活動を行う者の相互交流の機会の提供事業.....	4
第1節 市民活動に関する学習会の開催.....	4
第2節 市民活動団体の交流サロンの開催.....	5
第3節 元気村まつりの開催.....	7
第4節 こだいら人財の森事業の運営.....	9
第5節 中間支援組織同士が連携して行う事業.....	11
第3章 市民活動に関する情報の収集及び提供事業.....	13
第1節 あすぴあ通信の発行.....	13
第2節 インターネットによる情報発信.....	14
第3節 市民活動団体データの収集と発信.....	15
第4章 市民活動に関する相談事業.....	16
第5章 その他の事業.....	17
第1節 こだいらNPOセミナーへの参加.....	17
第2節 シルバー大学53期受講者の見学対応.....	17
第3節 東京ボランティア・市民活動センター新任研修の対応.....	17
第6章 指定管理事業の実施および進行管理の体制.....	18
第1節 事業実施体制.....	18
第2節 進行管理体制.....	19
資料編.....	21
資料1 元気村まつり来場者アンケート結果.....	22
資料2 元気村まつり参加団体アンケート結果.....	26
資料3 こだいら人財の森事業説明会・講演会アンケート結果.....	31
資料4 小平市民活動支援センターあすぴあ利用評価調査結果.....	37

第1章 支援センター利用に関する事業

第1節 利用登録の実績

小平市民活動支援センターあすぴあ(以下、あすぴあ)の会議室や印刷室などを利用する団体は、利用登録する。2023年度における新規登録と取り下げの状況を見たのが表1である。3月末時点で131団体が登録している。

利用登録の有効期間は、登録した年度から3年間であり、2023年度末までの更新手続き対象となるのが32団体あった。そのうち更新したのは24団体であった(表2)。

登録取り下げまたは登録更新しない主な理由は、高齢化による活動中止、団体の解散である。

表1 利用登録の動向(団体)

新規登録	登録取り下げ
12	10

表2 利用登録の更新状況(団体)

登録更新	登録失効
24	8

第2節 施設利用の実績

(1) 会議室および交流スペースの利用

会議室および交流スペースの利用人数は、年度計で会議室3,447人、交流スペース2,589人となる。月別の状況を見たのが図1である。

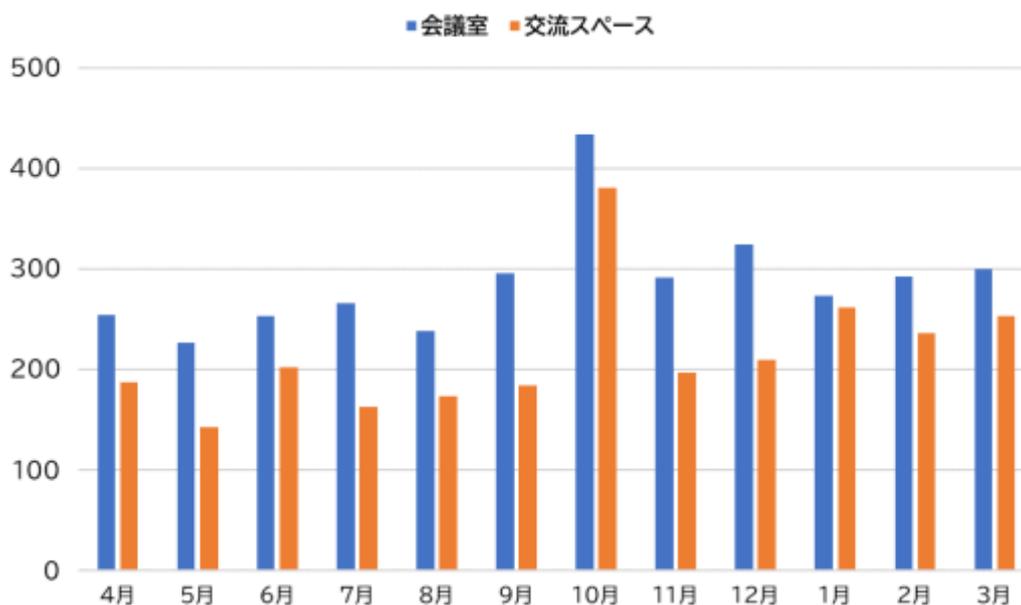


図1 センター施設の月別利用者数

会議室を利用する団体は、年度計で延べ417団体となる。月別の利用区分(午前、午後、夜間)別の状況を見ると、図2となる。夜間を利用する団体は少なく、午前および午後の利用が主である。



図2 会議室の利用区分別の団体数

団体が利用した区分数を貸出区分(午前、午後、夜間)の数で割る回転率で見たのが、表3である。年度平均で47.6%の回転率となる。

なお、上記したように午前と午後が主たる会議室利用なので、貸出区分の午前と午後で回転率の年度平均を見ると、午前63%、午後65.8%となる。

表3 会議室の回転率

	利用区分	貸出区分	回転率
4月	30	75	40.0%
5月	30	66	45.5%
6月	30	78	38.5%
7月	33	75	44.0%
8月	27	78	34.6%
9月	36	72	50.0%
10月	44	78	56.4%
11月	38	69	55.1%
12月	36	72	50.0%
1月	38	69	55.1%
2月	37	69	53.6%
3月	38	75	50.7%
年計	417	876	47.6%

年度を通しての会議室の利用団体数を正味で見たのが表4である。1回から9回の利用が最も多く、17団体となる。なお、50回以上利用したのは、あすぴあである。

あすぴあを除く会議室利用実績のある団体は、32団体で、利用登録団体131団体(3月末時点)のうち24%である。言い換えると、利用登録団体の8割近くが会議室を1回も利用していない。

ちなみに、利用登録団体を対象としたアンケート調査(2024年1月実施、以下「アンケート」)では、回答した47団体の55%が会議室や印刷室を利用していない結果となった(資料4参照)。

表4 会議室の利用団体数(正味)

回数	団体数
1~9	17
10~19	8
20~49	6
50~	1

(2) 機材の利用

有料で利用する印刷機、複写機、プリンタ、ラミネータの年間実績を見たのが、表5である。また、実績が最も多い印刷機について、月別の利用を見たのが図3である。

表5 機材の年間利用実績(円)

印刷機	84,770
複写機	17,590
プリンタ	7,880
ラミネータ	1,275
計	111,515

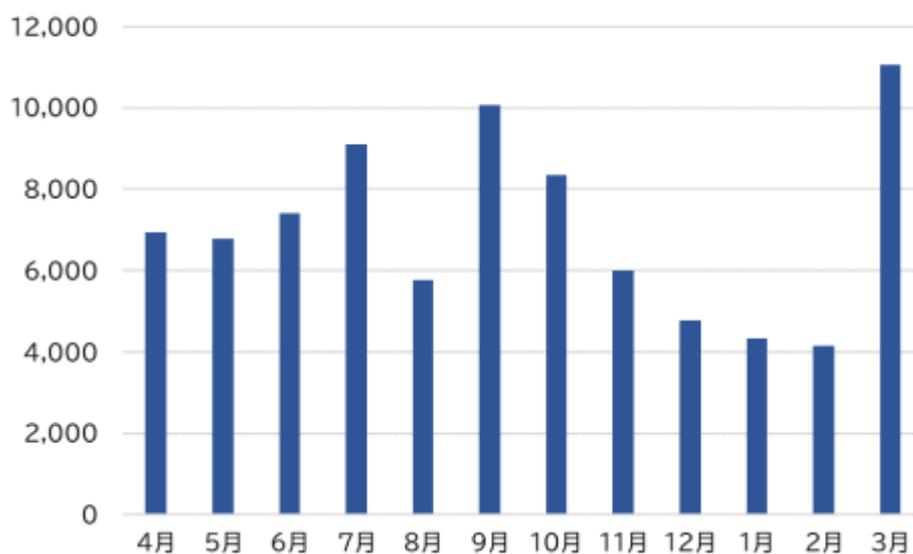


図3 印刷機の月別利用実績(円)

第2章 市民活動に関する学習の機会及び市民活動を行う者の相互交流の機会の提供事業

第1節 市民活動に関する学習会の開催

学習会には、イベント部会が実施した市民活動パワーアップ講座と、デジタル部会が実施した生成AI体験会がある。

デジタル部会は市民活動における昨今のデジタル化の流れを受け、2023年度に新たに発足した部会である。生成AI体験会は、初めての対外的な催しであった。デジタル部会については、第6章を参照のこと。

(1) 市民活動パワーアップ講座の実施

2023年度の市民活動パワーアップ講座の実施概要を表6に示す。

2023年度は、メール、電話、窓口の申込に加えて、グーグルフォームを導入し、申込情報の自動作成、申込者への自動返信などで情報の見落とし事故の予防、効率的な管理体制を試行した。

表6 市民活動パワーアップ講座の実施概要

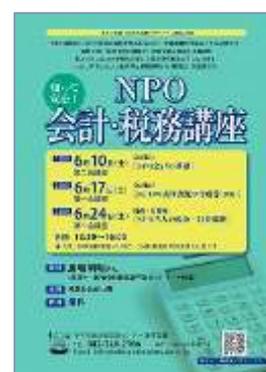
	テーマ	開講日	会場	受講者数
第1回	NPO会計・税務講座	①6月10日(土) ②17日(土) ③24日(土)	元気村第一 会議室、第二 会議室	3コマ連続 のべ28人
第2回	パワポで作る！プレゼン動画	①9月2日(土) ②9日(土) ③16日(土)	あすぴあ会 議室	3コマ連続 のべ22人
第3回	市民活動に役立つLINE活用	①11月25日(土) ②12月2日(土)	あすぴあ会 議室	2コマ連続 のべ15人

①NPO会計・税務講座

3コマ連続の内容で、講師は馬場利明氏(税理士・社会保険労務士、認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク)が務めた。のべ28人が受講した。

1コマ目と2コマ目の会計編「NPO会計の基礎」および「NPOの決算書類の作成等(演習)」では、演習を通じて帳簿の作成を学び、3コマ目の税務・労務編「NPO法人の税金・社会保険」では2023年10月に始まるインボイス制度について具体的に解説した。

受講者アンケートでは、「質問に対する丁寧な回答があり、分かりやすい」との感想があった。



②パワポで作る！プレゼン動画

2021年度と2022年度の元気村まつりでは、活動紹介動画を制作し公開する団体が増え、動画制作の関心が高まってきた。そのことを背景に、活動紹介や会員募集に効果的な動画制作を学ぶ講座を実施した。講師は、恵晋一氏(帝京大学非常勤講師、小平IT推進市民グループ)が務め、のべ22人が受講した。

1コマ目は動画制作の考え方解説、課題制作(パワポ部分)、2コマ目はクリップchampへの動画と音楽の挿入、課題完成、自由課題の開始、3コマ目は完成させた自由課題のプレゼンおよび講師の講評で進行した。

受講者アンケートでは、受講者の積極性と満足感を感じる結果になった。



③市民活動に役立つLINE活用

スマホのLINEを活用して団体内での相互連絡を効率的に行い、活動の活性化につなげる狙いで開講した。講師は、入江和美氏(NPO法人小平シニアネットクラブ)が務め、また同NPOから5人が補助協力員で関わった。

1コマ目はスマホの基本操作を復習し、2コマ目でLINEグループをつくってLINEでのやり取りを実体験した。

受講者アンケートでは、受講者の満足度の高い結果を得た。



(2) 生成AI体験会の実施

2023年度に発足したデジタル部会が初めて実施したもので、市民個人を対象に生成AIの体験会をあすびあ会議室で2月3日(土)に催した。参加者は23人であった。

講師に長谷川正雄氏(HASEKYO 代表)を迎え、生成AIを解説したあと、参加者が持参したパソコンで生成AIへアクセスし、簡単ないくつかの質問で生成AIとのやり取りを体験した。その際にデジタル部会員がパソコン操作を手助けした。



第2節 市民活動団体の交流サロンの開催

イベント部会は、市民活動交流サロン(以下、交流サロン)を12月から3月に全4回催した。その概要を表7に示す。各回ともゲストスピーカーの話と、それをもとにした参加者どうしの交流の組み立てとした。

申込方式は、市民活動パワーアップ講座で試行した-googleフォームへ一本化し、申込情報の効率的な管理体制を確立した。

表7 市民活動交流サロンの実施概要

	テーマ	開催日	会場	参加者数
第1回	あなたはどう生きるか？	12月16日(土)	あすぴあ 会議室	10人
第2回	こだいらで結ぶ、いきいき仲間の和と輪	1月27日(土)	元気村第 一会議室	20人
第3回	こだいらで、居場所、行く場所、もっと増やして豊かに暮す	2月17日(土)	元気村第 一会議室	16人
第4回	シン・公共施設からはじまる まちづくりの新時代	3月30日(土)	元気村第 二会議室	16人

(1) あなたはどう生きるか？

若い世代を対象にした交流サロンで、参加者は10人であった。市内で活動している松原沙由美氏(小学生学童施設支援員、ダンスワークショップ主催)、長谷川正雄氏(システムエンジニア、茶間茶間でセミナー開催)、丹生恵理氏(白梅学園大学の子育てひろばに関わる学生)をゲストに迎え、3人が活動を始めた経緯と今後について話をした後、参加者とゲストを交えた話し合いの場を設けた。

参加者アンケートでは、参加者の多くが満足していた。



(2) こだいらで結ぶ、いきいき仲間の和と輪

近い将来、地域活動に参加したいと考えている現役サラリーマン、子育てや介護が一段落した人を対象にした交流サロンで、参加者は20人であった。

地域活動を実践している、細江卓朗氏(白梅学園理事)、橋本正光氏(NPO法人小平シニアネットクラブ)、瀧野早苗氏(小平市民活動ネットワーク)をゲストに迎えて、3人の地域活動の実体験について話をした後、参加者とゲストを交えた話し合いの場を設けた。

参加者アンケートでは、参加者の多くが満足していた。



(3) こだいらで、居場所、行く場所、もっと増やして豊かに暮す

自分にとっての第三の場所(サードプレイス)に注目が高まっていることを受けて、小平市内でそういう居場所や行く場所について、話し合う交流サロンで、参加者は16人であった。

川村武士氏(生活支援センターあさやけセンター長)、出口みちたか氏(茶間茶間代表世話人)、小平社会福祉協議会ボランティアセンター職員をゲストに迎えて、趣旨や利用者の属性が異なる居場所や行く場所づくりについて話をした後、参加者とゲストを交えた話し合いの場を設けた。

参加者アンケートでは、参加者のほとんどが満足していた。



(4) シン・公共施設からはじまる まちづくりの新時代

2026年に小川駅西口の再開発ビル内に公民館、図書館、市民活動支援センター、男女参画センターの一体的複合施設が開設することを受けて、市民はどのような地域活動をするのか、どのような相乗効果を生み出すのかなど、まちづくりを未来志向で考える交流サロンで、参加者は16人であった。

公共施設整備事業担当の横山雅敏氏(小平市職員)をゲストに迎え、未来志向のまちづくりの話の口火を切る役割として、風間芳夫氏(小川シン・公共施設プレ事業&プロジェクトメンバー)、濱松若葉氏(まなキキ・プロジェクト)が加わった。その後に、参加者とゲストたちを交えた話し合いを行った。

参加者アンケートでは、参加者の多くが満足していた。



第3節 元気村まつりの開催

(1) 開催概要

「コロナ禍前に戻そう」を合言葉に、元気村まつりウィーク2023を開催した。参加団体は63団体で、うち8団体が初参加であった。以下に開催概要を示す。

表8 元気村まつり開催概要

開催期間	元気村会場:10月22日(日)10:00~15:00 オンライン: 10月22日(日)~29日(日) 8日間
開催場所	小平元気村おがわ東(会場) 元気村まつりサイト(オンライン)
開催方法	コロナ禍前に戻して飲食の販売も行い、会場とオンラインのハイブリッドで開催。
参加団体	63団体(初参加8団体)
広報活動	・ 元気村まつりのチラシ6,000部を公民館、地域センター、自治会などへ配布。FMラジオ局の「くるめら」出演、YouTubeの予告動画、Facebookなどで宣伝。 ・ 元気村まつりの予告動画2本を「こだいらNPOセミナー」の大学生3人(津田塾大学、武蔵野美術大学)が制作。元気村まつりの1か月前の9月22日から公開。それぞれ200件を超える視聴回数。

(2) 会場開催

①会場準備

元気村まつりの準備と運営は、参加団体に加えて、若い人たちがボランティアで関わった。開催前日21日の会場設営には、小平高校の生徒たち、ボーイスカウト小平第2団の団員たちが準備に関わった。

会場で催すビンゴ大会の景品を近所へ呼び掛けた結果、十分に賄える量の品物が集まった。



開催案内チラシ



寄付物品募集チラシ



舞台装飾(小平高校)



テント設営
(ボイスカウト小平第2団)

②当日の様子

舞台や展示の参加が58団体、来場者が約1,100人となり、コロナ禍前の数字に戻った。

会場の舞台では、市長あいさつ、コダレンジャー、参加団体による演奏やダンスなどを行った。スタンプシールラリー、ビンゴ大会、フィナーレの盆踊りは、多くの参加者を得た。

また、小平第一中学校、小平第二中学校パソコン部、小平高校の生徒たちが運営を手伝った。



市長あいさつ



コダレンジャー



ビンゴ大会



フィナーレ (みんなで盆踊り)



団体ブース(ワークショップ)



団体ブース(パネル展示)



当日プログラム

(3) オンライン開催

10月22日(日)から29日(日)まで元気村まつりサイト内で、参加団体の活動紹介やイベント紹介などを行った。

- ①参加団体紹介：45 団体
- ②団体動画一覧：34 団体(YouTube)
- ③団体紹介動画：9 団体(TikTok)
- ④イベント紹介：9 団体(10/22～10/29 開催)

(4) 参加団体交流会

元気村まつりウィーク最終日の29日に参加団体による交流会を開催した。28人が参加し、元気村まつりを振り返りながら団体の交流を深めた。

参加者からは、今年の元気村まつりは飲食可で来場者が昨年より増えて盛況だったが、来場者がもっと増えて欲しいとの意見もあった。



参加団体交流会

(5) 来場者アンケートおよび参加団体アンケートの実施

会場開催の22日に来場者アンケートを実施した。また、参加団体アンケートも同日に実施した。回収数は、来場者アンケートが126件、参加団体アンケートが36件であった。

アンケート結果は、いずれも好評であり、元気村まつりの成功を裏付けるものであったが、来年度に向けての改善点につながる結果も得た。アンケート結果の詳細は、資料1および2を参照のこと。

第4節 こだいら人財の森事業の運営

(1) 登録およびマッチングの実績

2023年度の登録とマッチングの状況は、以下のとおりである。

表9 人財の森登録およびマッチングの実績(件数)

区分	2023年度	2019年度-2023年度
個人登録	6	58
団体登録	3	29
団体のスキル登録	0	4
マッチング成立	2	20

(2) 人財の森登録者交流会の開催

人財の森登録者交流会を7月2日(日)午後に福祉会館4階小ホールを会場に開催した。人財の森に登録している個人と団体の人たち11人と人財の森委員が集まった。

2時間の交流会は、自己紹介、楽器演奏、グループに分かれての話し合いで進行的した。



自己紹介



楽器演奏



グループ交流

(3) 宣伝活動

人財の森を市民へ広く宣伝するため、市民まつり(10月15日)、元気村まつり(10月22日)、産業まつり(11月11日-12日)へそれぞれブース出展し、人財の森リーフレットを配布した。

また、出張広報アクションとして人財の森事業説明会に伴う講演会の宣伝活動を市役所ロビーにて実施した(2月19日-22日)。



市民まつり



元気村まつり



産業まつり



出張広報アクション

(4) 事業説明会および講演会の開催

人財の森事業を広く市民へ周知するため、知名度の高い講師による講演で多くの集客を図り、同時にそのことで人財の森事業の宣伝効果が高まることを期待し、以下のとおり事業説明会および講演会を開催した。

当日は、160人が参加し、うち2人が個人登録に至った。来場者アンケートを実施し、78件の回答を得た。アンケート結果では、とくに東ちづる氏の講演会が好評であった。結果の詳細は、資料3を参照のこと。

表 10 事業説明会および講演会の開催概要

日時	2024年3月9日(土)13時30分-16時10分
会場	ルネこだいら中ホール
内容	①人財の森事業説明会(事業説明、人財の森登録の個人と団体による鼎談) ②東ちづる氏講演会 ③人財の森、地域包括支援センター、高齢者支援課の活動紹介(ロビー)



講演会ポスター



事業説明



個人と団体との鼎談



講演会

第5節 中間支援組織同士が連携して行う事業

(1) 地域福祉活動及び市民活動の中間支援に関する情報交換会(AKVS)への出席

2023年度は、市の市民協働・男女参画推進課が情報交換会を3月に開催した。出席者は、あすぴあ、中央公民館、こだいらボランティアセンター、市民協働・男女参画推進課である。

情報交換会の内容は、2023年度事業の実施概要と来年度予定の報告、意見交換であった。

(2) 8市・市民活動情報連絡会への出席

多摩地域にある中間支援施設の運営者および市役所の所管課が集まって情報交換する会で、2023年度は7月に町田市、2月に府中市で開催した。現時点の構成員は、小平市、調布市、西東京市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市、町田市である。

なお、中間支援施設は、NPO法人が指定管理者のところ、市社会福祉協議会が運営しているところがある。

(3) 東京ボランティア・市民活動センター主催会議への出席

都内の中間支援組織(社会福祉協議会、NPO法人)の職員およびセンター長向けの会議へ出席した。

会議は、東京都や東京ボランティア・市民活動センターが実施する事業の連絡のほか、中間支援にかかるテーマについてグループワークで意見交換した(表11)。

表 11 東京ボランティア・市民活動センター主催会議

	区市町村ボランティア・市民活動推進団体事務局連絡会議	区市町村ボランティア・市民活動センター長会議
1	東京におけるボランティア・市民活動推進のあり方に関する検討委員会の報告	ボランティア・市民活動センターを取り巻く課題と今後の役割を考える
2	今こそ団体支援～じっくり語り合おう～	運営委員の関わりがセンターを変える、地域を変える
3	企業との連携や社員のボランティア参加への取組み	ボランティア・市民活動センターを取り巻く課題と今後の役割を考える Part2
4	ボランティアコーディネーターの役割を改めて考える	ボランティア・市民活動センターを取り巻く課題と今後の役割を考える Part3

第3章 市民活動に関する情報の収集及び提供事業

第1節 あすぴあ通信の発行

2023年度は、あすぴあ通信87号から90号まで4回発行した。各回の発行数は4,000部である。概要を表12に示す。

表12 あすぴあ通信の発行概要

号数(発行月)	構成	
87号(6月)	<p>1頁:センター長と職員が代わりました/新たにデジタル部会がスタートします</p> <p>2-3頁:団体紹介(Cancerおしゃべり Café、NPO 法人 アンファン・ボンヌ、NPO 法人カモミール)</p> <p>4頁:協働事業フォローアップ交流会/あすぴあ主催のイベント報告</p>	
88号(9月)	<p>1頁:元気村まつりウィーク 2023 案内</p> <p>2-3頁:団体紹介(白梅子育て広場、ART CAMP VILLAGE in KODAIRA) ※</p> <p>4頁:あすぴあ図書紹介/あすぴあ主催のイベント予告および実施報告</p> <p>※記事は、こだいら NPO セミナーで広報部会を体験中の大学生2人がそれぞれ取材および執筆を担当。</p>	
89号(12月)	<p>1頁:こだいら NPO セミナー成果発表会&まちで楽しむ10/元気村まつり写真紹介</p> <p>2-3頁:団体紹介(SORA 工房、折り紙を楽しむ会、NPO 法人ラスキア)</p> <p>4頁:あすぴあ図書紹介/あすぴあ主催のイベント予告および実施報告</p>	
90号(3月)	<p>1頁:市民活動とあすぴあ IT 関連講座</p> <p>2-3頁:団体紹介(小平市消費者団体連絡会、こだキッズタウン、シニアのための脳トレピアノ)</p> <p>4頁:あすぴあ図書紹介/あすぴあ主催のイベント報告/市民ライター募集</p>	

アンケートでは8割近い団体があすぴあ通信を毎回読んでおり、その団体の6割以上が活動に役立っていると評価している(資料4参照)。

第2節 インターネットによる情報発信

(1) あすぴあウェブサイトの運営

元気村まつり専用サイトのアクセス数も含んだあすぴあウェブサイトのアクセス数を見たのが図である。元気村まつり開催月の10月では、ビジター4,000件強、ページビュー13,000件強と数値があがった。その他の月では、ビジター2,000件台、ページビュー6,000件から8,000件の数値となる。

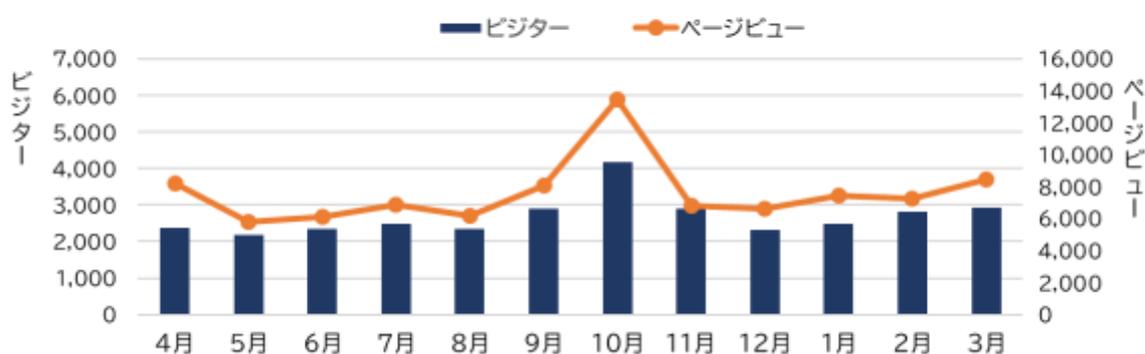


図4 あすぴあウェブサイトのアクセス数(月別)

(2) フェイスブックの運用

市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、元気村まつり、人財の森事業など、あすぴあが主催する事業実施、あすぴあ交流スペースの季節時事に応じて、フェイスブックへ関連記事を投稿した。

表13は、月々の投稿数、リーチ数、エンゲージメント数を示したものである。9月はこだいらNPOセミナー関連、10月は元気村まつり関連、2月は市民活動交流サロン関連の投稿で、リーチ数とエンゲージメント数が伸びた。

なお、エンゲージメント数は6月から収集した関係で、4月と5月の数値はない。

表13 フェイスブックの運用実績

月	回	リーチ数	エンゲージメント数	月	回	リーチ数	エンゲージメント数
4	5	389	-	10	17	3,133	899
5	6	407	-	11	7	714	193
6	7	499	125	12	6	505	150
7	7	564	171	1	9	805	269
8	8	691	181	2	10	1,688	422
9	16	1,240	366	3	8	817	285

※エンゲージメント数:いいね!、コメント、シェア、クリックの行動回数

(3) あすぴあメールマガジン発行

毎月末に配信している。配信先は、あすぴあ利用登録団体のほか、市民活動パワーアップ講座やあすぴあで開催したイベントなどに関わった個人である。

メールマガジンの内容は、あすぴあの事業予告、市内の活動団体に関係しそうな助成金情報を掲載している。

アンケートでは、団体のほとんどがメールマガジンを読んでおり、6割を超える団体が役に立っていると評価している(資料4参照)。

第3節 市民活動団体データの収集と発信

(1) 市民活動ガイドブックむすぶの発行

市内の市民活動団体が広く市民に対して団体情報を発信する補助として、冊子の市民活動ガイドブックむすぶ2024年版(以下、むすぶ2024)を発行した。発行部数1,000部で、市内の公共施設などへ配架した。

むすぶ2024には、192団体の情報(団体名、活動の一行紹介、連絡先)を掲載し、市民が活動団体を調べる手がかりを提供している。その情報の詳細は、あすぴあウェブサイトにある市民活動団体データ集「むすぶ」で検索できるようになっている。また、市民が市民活動を理解する参考情報を併せて掲載している。

(2) 市民活動団体データ集「むすぶ」の更新

むすぶ2024の詳細情報を検索するデータベースとして、市民活動団体データ集むすぶがある。冊子の制作と並行して、データベースの情報を新しいものに入れ替える作業を行った。データベースは、2024年4月1日に公開している。

活動分野別の団体数を見ると、保険・医療・福祉増進、学術・文化・芸術・スポーツ、こどもの健全育成の3領域が全体の65%となる。

団体名検索・キーワード検索

キーワードを入力

カテゴリー一覧

1. [保険、医療、福祉の増進](#)
2. [社会教育の推進](#)
3. [まちづくりの促進](#)
4. [観光の振興](#)
5. [農山漁村、中山間地域の振興](#)
6. [学術、文化、芸術、スポーツの振興](#)
7. [環境の保全](#)
8. [災害救援活動](#)
9. [地域安全活動](#)
10. [人権の擁護、平和貢献の促進](#)
11. [国際協力の活動](#)
12. [男女共同参画社会の形成](#)
13. [子供の健全育成](#)
14. [情報化社会の発展](#)
15. [科学技術の振興](#)
16. [経済活動の活性化](#)
17. [職業能力開発・雇用機会の拡充支援](#)

図5 市民活動団体データ集「むすぶ」の検索窓口

第4章 市民活動に関する相談事業

2023年度の間合せおよび相談支援は29件あった。その内訳を見たのが表14である。

表 14 相談事業の実績

受付方法	窓 口:21 電 話: 7 メール: 1
内容区分	問 合 せ:16 相談支援:13

間合せの内容は、利用登録団体の手続き、あすぴあウェブサイトのイベントカレンダー利用方法、ボランティアできる団体情報、人財の森の照会などである。

一方、相談支援の内容は、実施中の事業の見直し、団体の法人会計の体制構築、助成金を活用し活動を伸ばす方法、活動する仲間集めのやり方、法人の立て直しなど、問題解決の道筋を求めるものであった。

年間29件は月に2.4件の回数である。アンケートによれば団体の7割が相談窓口を利用していない(資料4参照)。

ちなみに小平市社会福祉協議会こだいらボランティアセンターのボランティア相談(個人、団体)は、2023年度で700件を超えている。

第5章 その他の事業

第1節 こだいらNPOセミナーへの参加

2023年度は、イベント部会、広報部会、フェスタ部会が学生の体験活動に協力した。

6月の出会いの場で、あすぴあ紹介のあと、イベント部会、広報部会、フェスタ部会で体験できる内容を提示し、興味を持った学生たちと個々に相談対応した。

その結果、学生5人が広報部会とフェスタ部会で体験活動し、体験で得たことを9月24日の成果発表会で報告した。



体験活動の振り返り

第2節 シルバー大学53期受講者の見学対応

シルバー大学53期のあすぴあ施設見学が6月14日にあり、見学者29人に対してあすぴあの施設および事業について説明した。

第3節 東京ボランティア・市民活動センター新任研修の対応

区市町村ボランティア・市民活動センター新任研修の現場訪問を8月18日に対応した。

研修生は5人で、当日の午前中に元気村まつり実行委員会の傍聴、午後に元気村まつりの解説、あすぴあ事業全般の説明、市民参加で進める事業にかかる意見交換(グループワーク)を行った。



元気村まつりの解説



グループワーク

第6章 指定管理事業の実施および進行管理の体制

あすぴあ事業の実施および進行管理の体制を以下に示す。

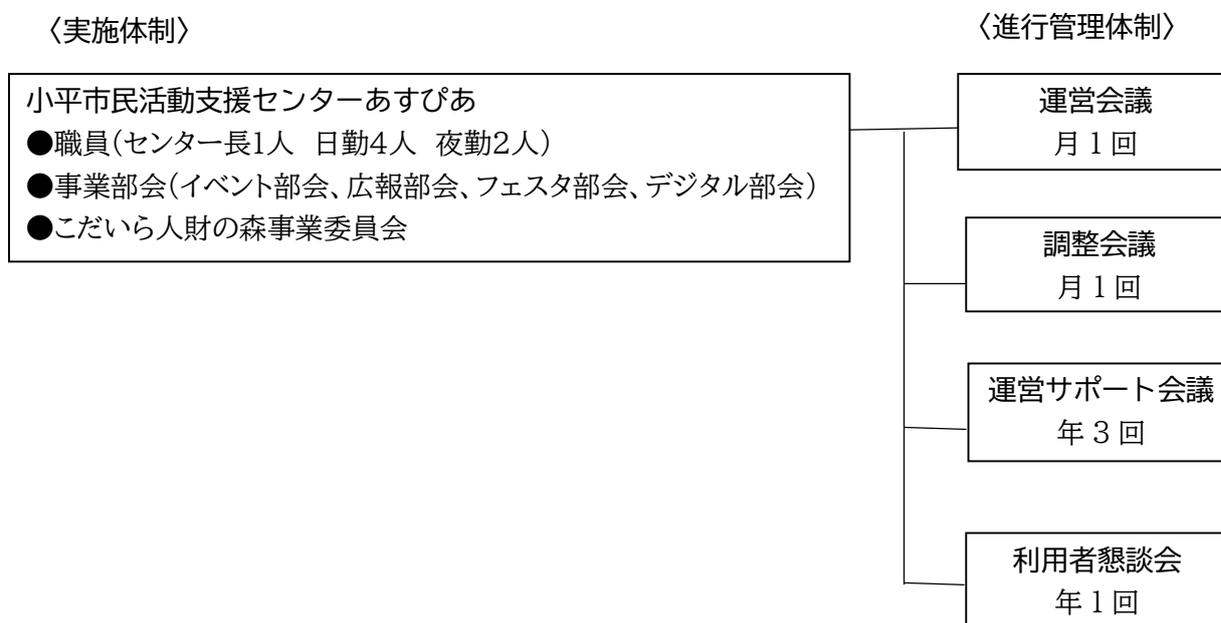


図6 事業の実施および進行管理の体制

第1節 事業実施体制

(1) 職員

センター長ほか日勤職員4人が指定管理事業の業務を分担した。

職員は、イベント部会、広報部会、フェスタ部会、こだいら人財の森事業の事務を担当したほか、あすぴあウェブサイトやフェイスブックの運用、会議室や印刷室の利用対応、相談対応など、もろもろの業務に従事した。

また、夜勤職員は、夜間の会議室や印刷室などの利用対応、閉館業務に従事した。

(2) 事業部会

指定管理事業の主要な柱である市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、あすぴあ通信、元気村まつりは、それぞれイベント部会、広報部会、フェスタ部会が担っている。それらの部会は、市民が市民の活動を支援する理念により、市民が部会員になっている。

また、2023年度に新しく発足したデジタル部会には、ICT関連の仕事に就いている現役世代の市民も参加している。デジタル部会は、市民活動におけるオンラインやデータ活用などの社会情勢を背景に、小平市内の市民活動のデジタル化にかかる普及啓発と推進を目的に活動する。

市民が参加する事業部会は、あすぴあの特色となっている。部会の開催時期や頻度等は、個々に定めている。

また、各部会には指定管理者の理事が1人付いており、予算管理および進行管理で部会長を補佐している。

表 17 事業部会の概要

2023年3月31日現在

部会	活動	部員数
イベント部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロンを企画・運営する。 ・ 2023年度は、講座3回、交流サロン4回を実施した。また、市内団体ヒアリングで地域問題の把握に努め、企画づくりに反映させた。 	7人
広報部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ あすぴあ通信の企画・取材・編集を担う。 ・ 2023年度は、あすぴあ通信を4回発行した。 	7人
フェスタ部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気村まつりの企画・運営の全体方針を定め、部会内に元気村まつり実行委員会を設置し、具体的な準備を進めた。 ・ 2023年度は、10月22日から29日を元気村まつりウィークとし、22日は会場開催、29日まではオンライン開催の形態とした。 	7人
デジタル部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動のデジタル化の普及啓発と推進に取り組む。部会内に3つのチームを設置した。 ・ 団体紹介サイトチームは、市内活動団体のプラットフォーム型サイトを検討した。 ・ ホームページ・データ活用チームは、あすぴあウェブサイトの改善、業務のデジタル化を検討した。 ・ デジタル推進チームは、市民向けの生成 AI 体験会を2月に催した。 	16人

(3) こだいら人財の森事業委員会

こだいら人財の森事業では、市民協働・男女参画推進課と指定管理者理事による委員会を設置しており、2023年度は同委員会にて企画や運営などを担った。その委員会の下に専門員を配置し、個人登録者と登録団体とのマッチングを進めた。

また、2023年度は、東京都が「人生100年時代社会参加マッチング事業」の下、マッチングシステム「地域参加のトビラ」の運用を始め、それが人財の森事業の今後に関係してくるとの判断から、高齢者支援課と小平市社会福祉協議会地域包括支援センターの委員会陪席を依頼した。

第2節 進行管理体制

指定管理事業のPDCAマネジメントサイクルのため、進行管理体制として運営会議、調整会議、運営サポート会議を開催した。

また、指定管理事業の顧客となるあすぴあ利用登録団体に呼び掛けて利用者懇談会を開催した。

表 18 進行管理体制の概要

名称	概要
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン併用で月1回開催した。事業部会の各部会長、センター長、指定管理者理事が出席した。 ・ 会議では、指定管理事業の進捗状況について、それぞれ関係者が報告し、必要に応じて事業進捗にかかる意見交換を行い、事業の適切な実施や問題点などを協議した。
調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回の開催で、市民協働・男女参画推進課、指定管理者理事長と副理事長、事務担当理事、センター長が出席した。 ・ 会議では、指定管理事業の進捗状況にかかる報告のほか、必要に応じて事業進捗にかかる意見交換を行い、事業の適切な実施や問題点などを協議した。
運営サポート会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン併用で7月、11月、3月の年3回開催した。指定管理者の事業実施報告をもとに委員が第三者の立場から評議した。 ・ 委員は、利用登録団体、公募市民、有識者、地域住民、小平市社会福祉協議会こだいらボランティアセンターの11人で、オブザーバーに市民協働・男女参画推進課が出席した。
利用者懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・ あすぴあ利用登録団体を対象にしたアンケートを1月に実施し、施設利用、情報利用、相談利用などの評価を調べた。その結果をもとに2月に利用登録団体との懇談会を開催した。出席者は13人であった。 ・ 懇談会は、調査結果の共有、意見交換および団体交流の内容とした。

資料編

資料 1 元気村まつり来場者アンケート結果

資料 2 元気村まつり参加団体アンケート結果

資料 3 こだいら人財の森事業説明会・講演会アンケート結果

資料 4 小平市民活動支援センターあすびあ利用評価調査結果

資料1 元気村まつり来場者アンケート結果

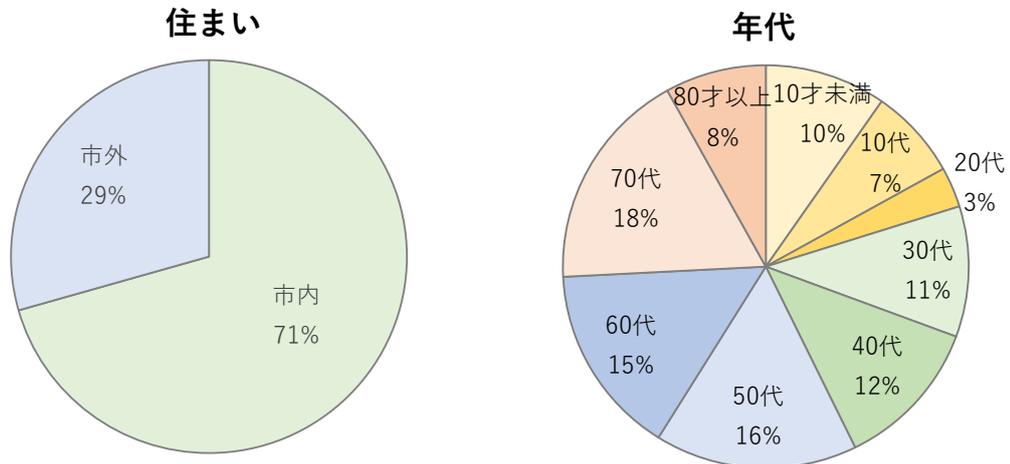
■会場開催：2023年10月22日（日）10:00～15:00

■回答数：126件

■回答者の属性

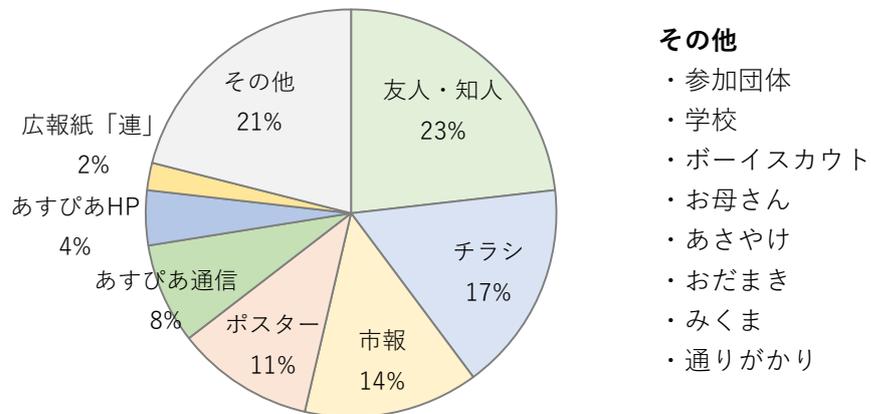
市外からの来場者は昨年の12%から29%に増えています。

来場者の年代は70代が最も多いですが、若い世代も子どもを含めて昨年より増えています。



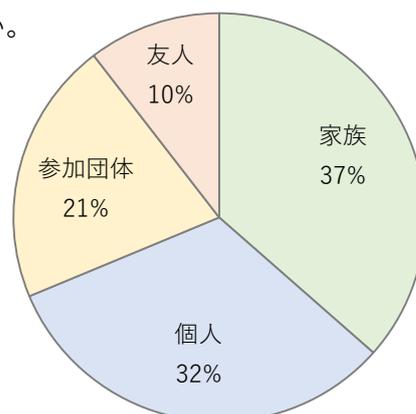
■元気村まつりを何で知りましたか？

友人・知人による口コミが多いですが、チラシや市報による広報の効果も多い。



■誰と来ましたか？

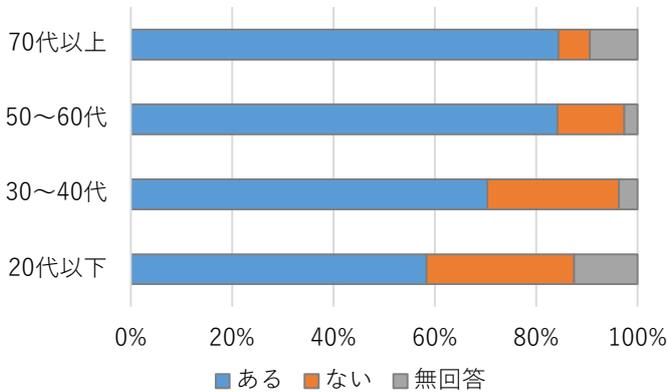
来場者は日曜日で家族や個人が多い。



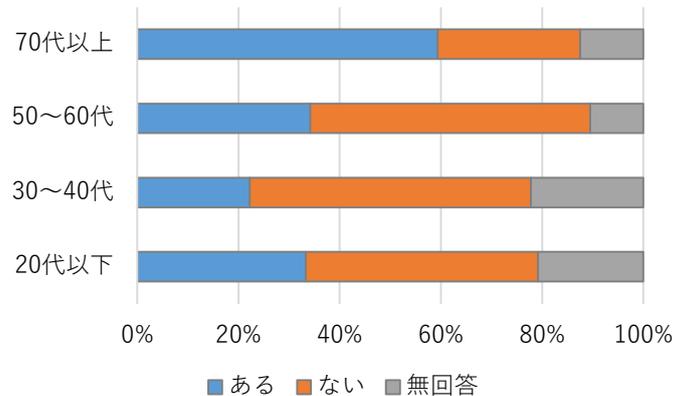
■市民活動の関心と参加

市民活動に対する関心は高く全体で8割程度あり、年代とともに増えています。昨年に比べて若い年代の関心や参加が増えています。但し、30～40代は参加が少ないですが、仕事や育児で忙しいようです。また、市民活動に実際に参加するには団体の活動を知ることやきっかけが必要です。

市民活動に関心がありますか？



市民活動に参加したことがありますか？



どのような活動に参加しましたか？

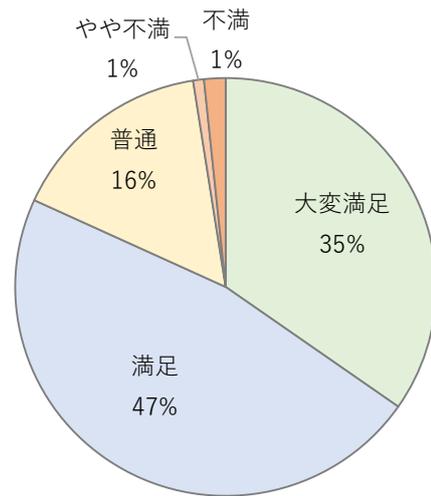
- ・ 地域のお祭り
- ・ 祭りなど、たのしいイベント
- ・ 元気村まつり、憲法カフェ、公民館講座
- ・ 元気村まつりのようなイベント
- ・ パレードなど
- ・ 福祉バザー
- ・ 国際交流
- ・ 小平フレンドシップ交流会 (KIFA)
- ・ KIFA ボランティア
- ・ 認知症ボランティア
- ・ ウクレレによるボランティア活動
- ・ ボランティアで参加したことがある。他市町村
- ・ 議会傍聴、公共施設でのコンサート開催、平和・平等
- ・ 教育問題
- ・ IT 活用支援など
- ・ 生活クラブ生協活動
- ・ 小学校での土曜講座 (東村山市)
- ・ 経済サークル、憲法を守る会
- ・ ボッチャボランティア、スポーツボランティア
- ・ 市民スポーツ大会
- ・ ラジオ体操
- ・ 清掃活動
- ・ 音楽会
- ・ 上映会
- ・ プレイパーク
- ・ いけばな
- ・ けやき青年教室
- ・ ひだまり
- ・ Coder Dojo

参加したことがない理由は？

- ・ 仕事が忙しくて…
- ・ 忙しくて
- ・ 多忙のため
- ・ 多忙
- ・ なかなか休みがとれない
- ・ 時間がない。活動状況がよくわからない
- ・ 時間的余裕がないため
- ・ 時間がなく
- ・ ひまなし
- ・ 関心はあるものの日々の忙しさや活動を知る機会がないため
- ・ きっかけがない
- ・ きっかけがなかったため
- ・ 機会がなかったため
- ・ 機会がなかった
- ・ チャンスがありませんでした
- ・ どこでどんなことをやっているのか知らない
- ・ あまり知らない
- ・ 知らなかった
- ・ 知らないから
- ・ 「市民活動」にはどのようなものがありますか？
- ・ まずどんな活動があるのか知るところから始めたいと思います
- ・ 参加方法がわからない。
土日しか空いていない(平日活動のところが多い)
- ・ まだ子育て世代なのでもう少し後に…
- ・ 足が不自由で
- ・ 運動は苦手なので
- ・ まだ引っ越したばかり

■元気村まつりの満足度はどうですか？

来場者の8割が「大変満足」「満足」と回答しています。
特に昨年に比べて「大変満足」が倍増しています。
今年は飲食ができたことが良かったようです。



■面白かったものは何ですか？

ポッチャやビンゴなどの体験参加やコダレンジャーなどの舞台発表に人気があります。

<ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャ (18件) ・ビンゴ (16件) ・コダレンジャー (8件) ・フェアリー (6件) ・バザー (5件) ・朝鮮大学校舞踊 (4件) ・古本 (4件) ・折り紙 (4件) ・スタンプシールラリー (3件) ・盆踊り (3件) ・ステージ発表 (3件) ・ジャズ (3件) ・さきおり体験 (3件) ・森のアート (3件) ・コーダー道場 (3件) ・消費者団体連絡会 (3件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・豚汁 (3件) ・小平マンドリンクラブ (2件) ・くちぶえジュピター (2件) ・いけばな (2件) ・憲法カフェ (2件) ・政治・知りたい、確かめ隊 ・井戸の会 ・SORA 工房 ・こだいらソーラー ・IT系サークルの人の説明 ・パソコン ・射的 ・人との交流、出会い ・やきそば ・こげらまんじゅう ・和菓子屋さん
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■その他、自由にお書きください。

飲食が復活してとても楽しかったという内容が多いです。初めて来た方も多かったようです。
コダレンジャーの出演時間の案内が必要でした。

- ・小平はおまつりが多くてたのしいです。
- ・楽しいイベントが沢山あって小平ってステキ♡ですネ
- ・小平市の市民活動の様子がわかりました。引き続き開催してほしいです。
- ・皆さんいきいきと活動されていてとてもすばらしいと思いました。
- ・みなさんがやさしくて楽しかったです。
- ・こんなすてなおまつりが身近で開催されていることを詳しく知りませんでした！地域のあたたかさを感じます。
- ・市民の人たちがいろいろなことに参加しているのでこのようなまつりが出来るのだと思いました。

- ・どの団体も熱心に活動されていて感動しました。晴天に恵まれて良かったですね。
- ・久しぶりの会場開催だったので参加することが楽しかった。高齢になると足が疲れるので「おもてなしの椅子」があってよかった。これだけの種類の団体が参加する見本市は他市でもなかなか見られない。他団体とも交流できた。自団体のイベントに誘った。続けてほしい。
- ・はじめて来て広いのにびっくりしました。いろいろあって。
- ・初めてきたけどとても楽しかったです。
- ・楽しい祭りでした。
- ・みなさん楽しんでいました。
- ・お昼頃盛況で良かった。
- ・食べ物があってゆっくり見ることができた。
- ・食べられるスペースやイスなどがたくさんあって一人でも飲食することがむずかしくなくてとても良かったです。少し寒い時にほっこり豚汁はとっても嬉しかったです。
- ・豚汁復活うれしいです。
- ・やきそばを買いました。
- ・みくまおいしかったです♡
- ・各団体よく勉強されて励みになります。
- ・ボランティアの身にもかわらずもてなしていただいて今日はありがとうございました。
- ・スタンプラリーの問いかけがよい。
- ・パソコンなどを体験できるコーナーがとてもいいです。
- ・毎年続けてください。
- ・また来たい。
- ・ビンゴが当たらなくてくやしかった。
- ・風船がなかったら素晴らしいおまつりになっていた。(ゴムアレルギーのため)
- ・パソコンで名刺が作りたかった。
- ・コダレンジャーの時間が早くてみられなかった。
- ・コダレンジャーになかなか遭遇できない。午前中なので…
- ・参加がいまひとつ少ない気がしますがこういう時代ゆえしかたが無いと思いますが、くじけずがんばってください。
- ・打合せを Zoom でも実施して頂けるとうれしい(対面と Zoom の 2 本立て) また、打合せ資料は OK の人はメールで送り紙配付を削減する (SDG s への寄与)
- ・もう少し広い会場で。
- ・もっと情報がほしい。
- ・たべものがあまりなかった。
- ・アルコール(ビールくらい)も販売してくれれば良かった。

資料2 元気村まつり参加団体アンケート結果

■回答数： 36 件

■参加されたきっかけ・目的を教えてください。

全般的に参加の目的は各団体の活動内容を広く知って頂いて、交流しながら活動を普及させるために参加しています。

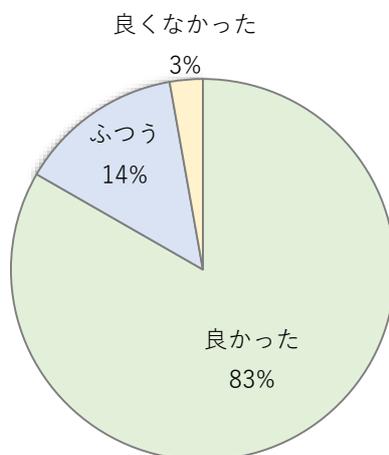
- ・ 自団体の活動報告・紹介、他団体との交流
- ・ 自団体とあすぴあの活動内容状況を広く知ってもらうため
- ・ 展示で活動を紹介して多くの人に知ってもらうため
- ・ 交流・つきあい・仲間増やすこと
- ・ 横のつながりを作りたい、他の団体のミッション活動を知りたい
- ・ 地域在住の外国人と交流する日本語教室を知って頂いて支援者を増やすため。
- ・ 私たちの活動を知ってもらい、DV についての認識や、防止するためにどうすればよいかを考えていただくために情報を展示する。
- ・ ボランティアセンターの事業案内、イベント開催の案内と出展される市民活動団体との連携のため
- ・ イベント部会会員募集とこれからの講座・交流サロンへの参加募集
- ・ 交通安全教室・啓発のため（自転車シミュレータ出展）
- ・ 販売場所を探したところ、知人に紹介された。売り上げは社協に寄付している
- ・ 活動拠点のあすぴあでみんなにこあっぽの活動を知ってほしい。
- ・ 本団体(PPK)は今年 5 月に立ち上げたばかりの団体です。「あすぴあ」のことは以前から知っていたので立上げと同時に参加を決めました。新入団体です。
- ・ 防災に関する啓発活動
- ・ 小平ボッチャ協会として参加、ボッチャの普及
- ・ ホームページだけでも参加して PR できればと考えた
- ・ 昨年も参加させて頂きました。盆踊りの輪を広げたい
- ・ 毎年ミニ古本市で出店しています。
- ・ 再エネの普及促進の活動アピール、団体交流
- ・ ボードゲームをするため
- ・ 毎年参加しているため。PR です。
- ・ 毎年参加させていただいているので。
- ・ 活動内容の紹介と会員募集
- ・ 新会員の体験会
- ・ 会の宣伝

■運営（準備、開催時、片付け等）についていかがでしたか？

8割が「良かった」と回答しています。

準備から運営も円滑にできて、中高生のボランティアにも感謝されています。

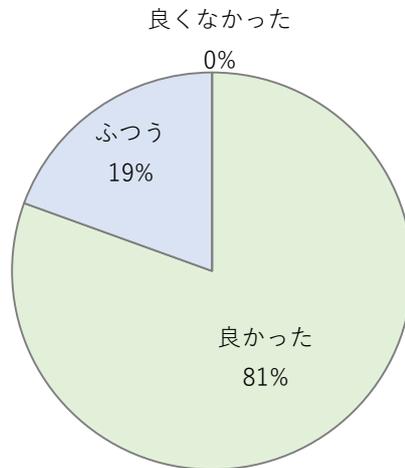
団体により参加メンバーの調整で難しい面も見られます。



- ・事前準備がよかった
- ・全体がよくまとまって連絡がよく取れている。
- ・よく準備されており、運営がスムーズだった。
- ・エリアごとに集まり指示を頂けたので動きやすかった。
- ・統制がシンプルで視認性 good！事前準備がすばらしいと思った。
- ・段取りよし
- ・ボランティアも一緒に早く作業が終わってよかった。
- ・中学生のボランティアさん達が一生懸命に頑張ってくれていた
- ・高校生などの参加
- ・若い方々が積極的に動いてくださり頼もしかった。
- ・若い方々が積極的に動いてくださり感謝しています。
- ・今年は、私共の行事と日程が重なってしまい、展示のみの参加で、準備片付け等できずすみませんでした。高校生や中学生のボランティアの方が活躍していて、よかったと思いました。
- ・前日の準備に参加できず申し訳なく思いました。当日の片づけは他団体の方にも協力いただき予定時間より早く終えることができました。
- ・展示スペースも狭かったので早く終了した。
- ・表の時間より早く終わった。
- ・12月の交流サロンは若者対象、若者へのチラシ配布と勧誘の機会があった
- ・防災に関する展示が少なく、立ち止まる見学者が少なかった。
- ・展示室への来訪者が少なくなかった。
- ・ブースの飾りつけありがとうございました。
- ・あまり関わってないので申し訳ないです。
- ・15:00前に片付けるサークルもあった。
- ・来客数が少ない
- ・動画やTikTokなど新しいことにチャレンジさせてもらえたのは良かったのですが、ミーティングなど参加できるメンバー、申込や撮影に応じられるメンバーやタイミングが難しく… 最終的にはうまくまとめてくださり感謝です。ありがとうございました。

■今回の開催内容についていかがでしたか？

8割が「良かった」と回答しています。コロナ前の賑わいが戻り充実していました。但し、集客力や動線の工夫が必要です。



- ・とても充実していたと思います。活気もあり、お客様も皆さん喜んでいました。
- ・参加者の多くが会場全体を訪問していた。
- ・オンライン含め開催したことで多くの方に元気村まつりを知っていただく機会になったのではないかと思います。
- ・当団体の活動を広く宣伝できたと思います。
- ・飲食もでき、コロナ前に戻れたように感じてもらえた気がした。
- ・コロナ前の賑わいが戻って来たように思いました。また、参加団体も様々な分野の団体が増えたように感じました。
- ・Bingoなど親子参加が多かった。飲食があり賑わいが戻った。
- ・屋内広場での出店だったので他を見て回る余裕がありませんでした。フロアステージのラインナップはどれも楽しく盛り上がっていました。最後の盆踊りも良かったです。
- ・天気も良く、久しぶりに食べ物やゲームもあり、盛り上がったと思う。
- ・館内全体を人がまんべんなく行き渡り、無理のない動きになっていた。全体→末節まで心配りがgoodでした。
- ・これだけ多数の団体がよくまとまって、団体間が和気あいあいとしてる。
- ・従来にも増して新しい団体の参加が目立った。
- ・内容が充実していた。
- ・来場者に多く説明できた。
- ・楽しめた。お客さんがたくさん来てくれた。
- ・久しぶりなので楽しかった。
- ・会場での参加できなかったが、ホームページに掲載できてPRする手段を得た。早速、参加団体募集の際、説明資料として活用した。
- ・ステージに団体紹介のコーナーがなかったのは残念だったが、盆踊り大会は楽しかった。
- ・集客力のあるゲストを招待できなかった。
- ・集客力のあるゲストが参加できればよかった。
- ・コロナ前のような活気がなかった。

- ・来場者がもっと増えるとよいと思います。販売者が多いと来る方たちも増えるのでは。
- ・催し物の動線がわかりにくかったのもう少し動きやすく工夫が必要かと思います。

■ご意見、ご感想をお書きください。

全般的に飲食ができて盛況で良かったという意見や感想が多いです。

休憩スペースやスタンプラリーなど来場者への案内に改善が必要です。

- ・当日はスムーズに進み、参加者の反応も良かったと思います。ありがとうございました。
- ・すべてのブースが工夫されていた。スタッフが生き生きされていた。
- ・飲食ができるようになって、まつりの雰囲気を楽しむことができた。
- ・出展者は全員熱心に活動のアピールその他を行っていた。
- ・高齢者の方にも良好であった。
- ・子供さんの興味がすごくあった。
- ・来場者も多く、飲食もできて良かったです。
- ・4年ぶりのまつりは、天気にも恵まれ、従来と同じ要領で出来たことは良かった。
- ・多くの方が参加していただき盛況でよかった。
- ・たくさんの方々の協力あってのおまつりですね。スタッフのみなさまお疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・すべて見ることは出来ませんでした。みなさんとてやさしく説明して頂き、ポッチャも体験でき楽しかったです。盆踊りも不慣れな中、みなさんに助けて頂き本当にありがとうございました。
- ・展示で参加をいたしました。他団体の方や関係機関の方などの来所が多くありました。今後開催のイベント周知等の機会ともなり参加出来て良かったです。ありがとうございました。
- ・ビンゴゲーム楽しく参加させていただきました。来場者がたくさんになるともっと楽しくなるのではと思います。
- ・地域の方とふれあえてとてもよい機会となりました。また参加したいです。
- ・地域との交流はとても良いものだと感じた。また文化祭などを紹介する機会になってよかった。
- ・展示会場が事前に準備してくださってあり、やりやすかったです。ありがとうございました。
- ・参加型の楽しさが、活かされていたと思いました
- ・防災に関する団体参加が少なかったため、今後とも続けて参加したい。
- ・防災に関する市民団体の参加を期待して、今後とも参加したい。
- ・もっとたくさんの方々の参加があるといいなと思います。
- ・食べ物をもっとあるとよかった。食べる場所休憩所が体育館になくなったので不便。飾り付けが前よりシンプルで良い。スタンプラリーの景品交換後のプログラムは、回収せずスタンプを押して返してほしい。まだ使うし記念に持ち帰るので。実行委員の皆様のご苦勞に感謝いたします。
- ・ご案内のスタンプラリーは品物を渡したあと回収ではなく印をつけるだけで良いのではないかと…。(記念に持ち帰りたい方がいたので)
- ・休憩できるスペースは地図に載せてください。来場者にはスタンプラリーがわかりづらいようでした。(受付で質問され案内しました。各ブース赤・黄・緑)
- ・男女協働参画センター”ひらく”にも休憩スペースがあることを明記・告知してもらえたらと。スペース(展示)もマップと齟齬があり、事前に打合せが必要だったのかと思いつつ、全てには参加できずに申し訳ありませんでした。2回目の打合せで(準備)当日調整といわれていたのもっと自由に対応してもらえるのかと思っていました(泣)
- ・受付のお手伝いをした際、当番であることがわかる腕章とか名札などあるとお客様に話しかけやすいと思いました。また、ベビーカーやカートを押した方が、入口に入る時、受付のテントがあるため、スロープまで行きづらくて不便そうでした。短いお手伝いの時間だけでも、他の団体の方やあすび

あのスタッフの方、高校生とお話できて楽しかったです。29日の交流会は都合がつかず、欠席させていただきます。

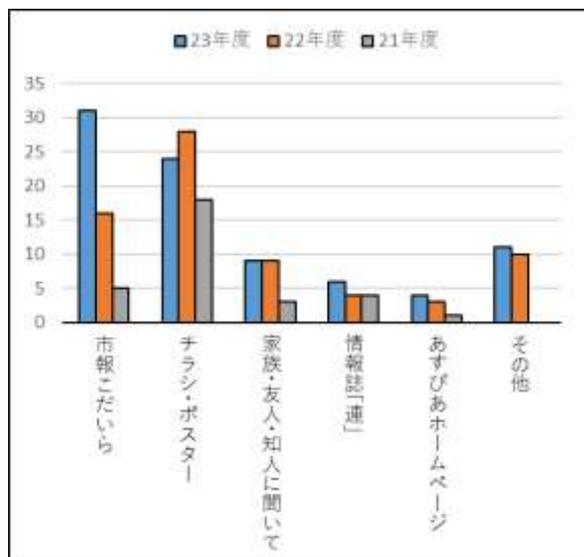
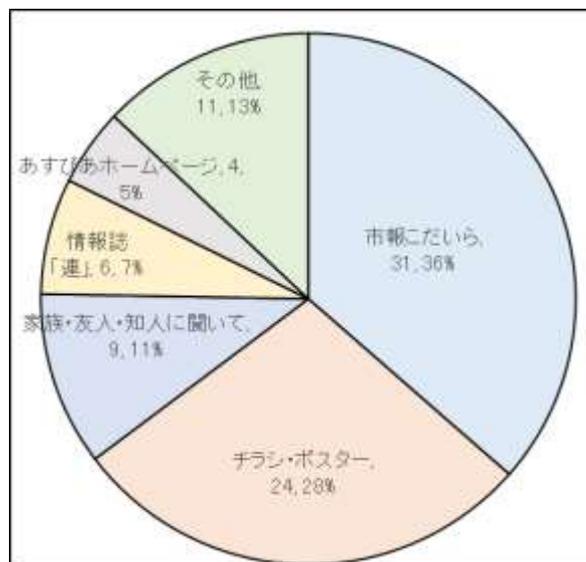
- ・昨年より参加団体が多いと感じた。お客の入りは少々物足りない、特に奥の方まで来ていただけず。
- ・時々本部からの案内がスピーカーから流れたが、音が高すぎてビックリ。事前にテストすればこんなことにはならないのに…。
- ・15:00まで片付けしないという話だった気がしますが、皆さん14:50には片付け始めたので焦りました。

資料3 こだいら人財の森事業説明会・講演会アンケート結果

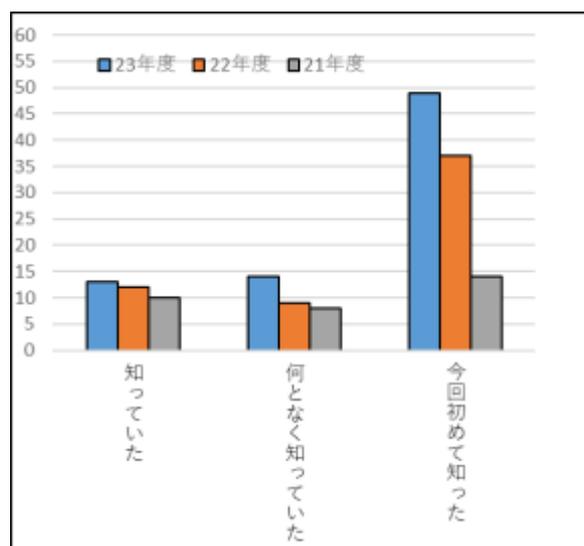
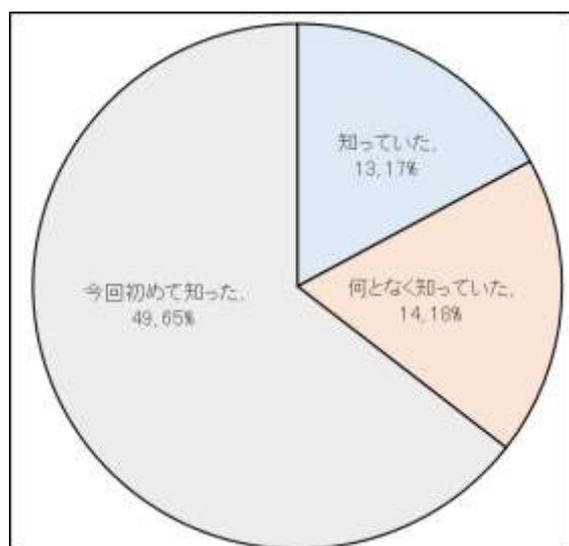
■開催：2024年3月9日(土) 13時30分-16時10分

■回答：78件

1. この企画を何で知りましたか？(複数回答可)

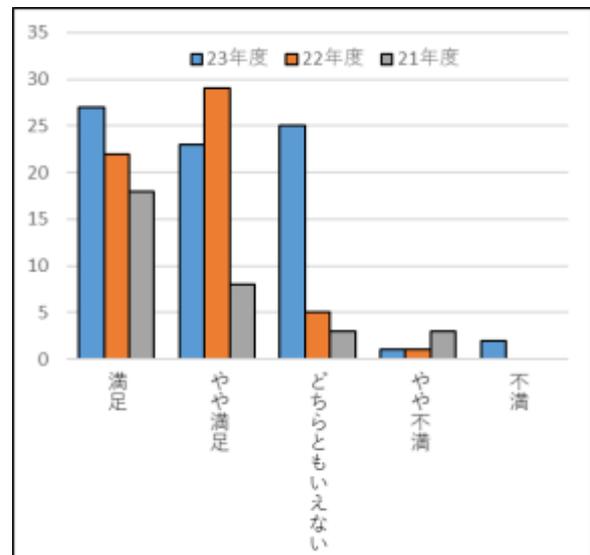
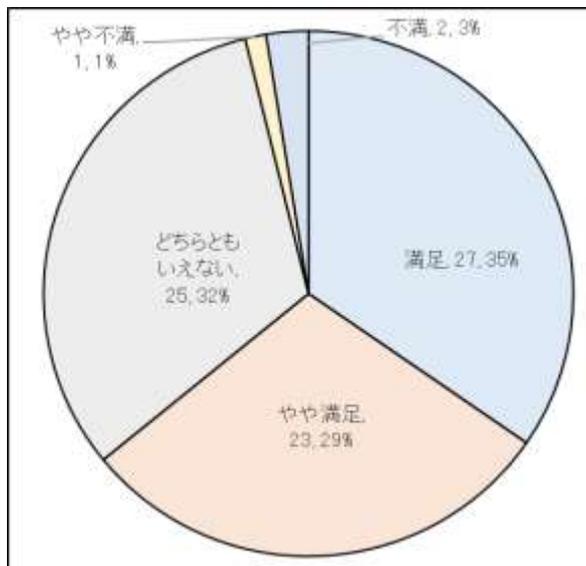


2. 人財の森事業のことは以前からご存じでしたか？

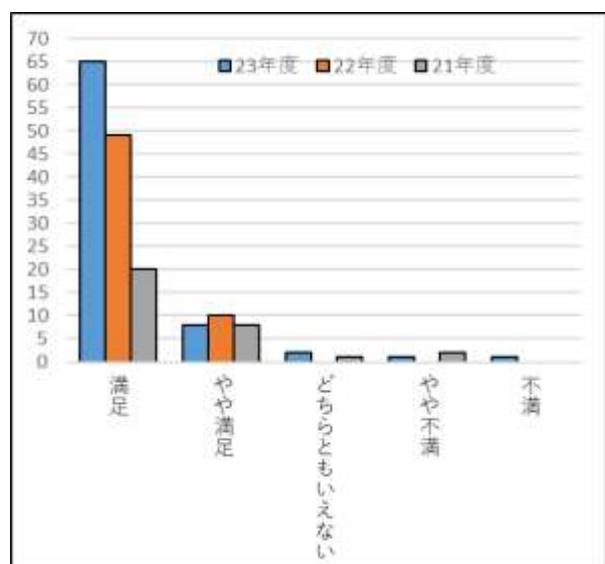
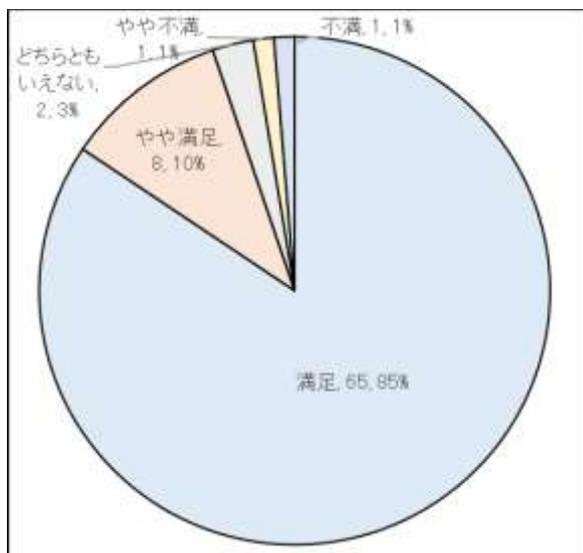


4. 本日の各プログラムの満足度について、最も該当する項目を一つ選択してください。

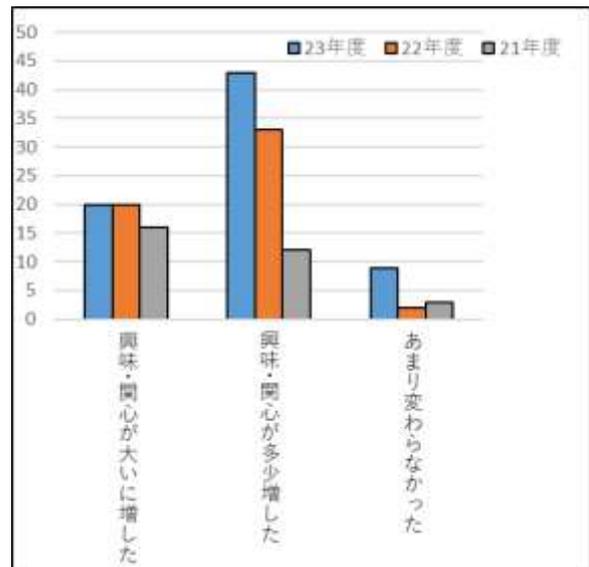
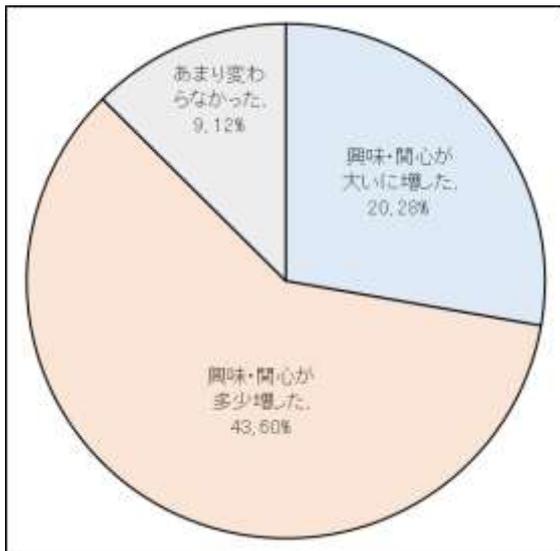
第1部 こだいら人財の森事業について



第2部 東ちづるさん講演会

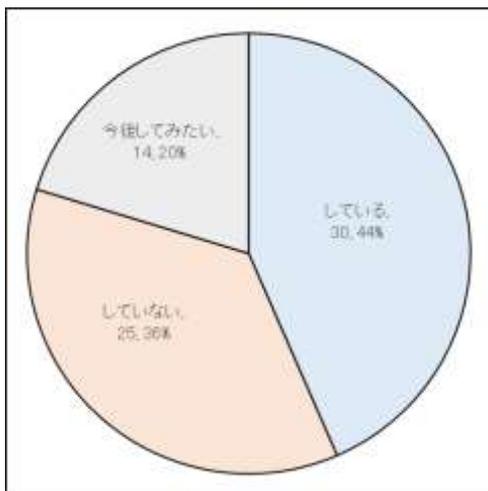


5. 講座に参加されて「人財の森事業」や市民活動に対してどう思われましたか？

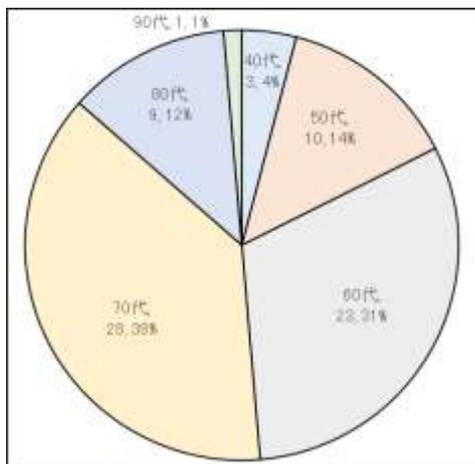


8. 最後にあなたについてお伺いします

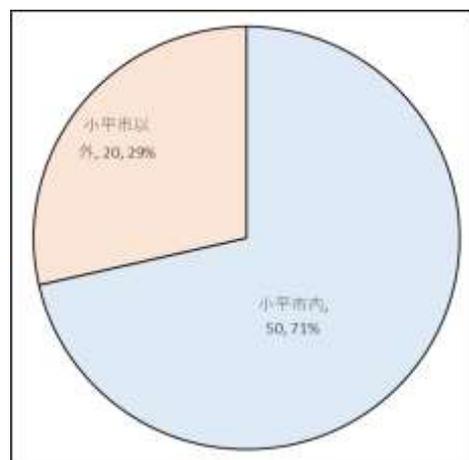
①現在、なにかしらの市民活動やボランティア等に参加していますか？



②年代



③住所



3. この講座に参加された動機はなんですか。どんな所に惹かれましたか。

●東さん講演会目的(43)

- ・東さん
- ・東ちづるさんが大好きなことから
- ・東さん
- ・東さんとボランティアについて
- ・東ちづるさんのお話
- ・東さんの講演
- ・東ちづるさんが出るから
- ・東さんのファン及び何かこの先で力に
- ・東さんの話を聞きたかった
- ・東ちづるさん講演会
- ・1.東ちづるさんを見たい 2.差別などしていないと思っているけど本当はどうなのか知りたい
- ・東ちづるさんが好き
- ・東さんの活動はTVで何度か見て知っていたので直に生の声、話を聞きたかった
- ・東ちづるさんの「まぜこぜ」の言葉に興味
- ・東ちづるさんのお話を聞きたかった
- ・東ちづるさんの講演会 ワクワクで「まぜこぜの社会」のタイトルに惹かれました
- ・東ちづるさんの講演があるから
- ・東ちづるさんのお話を以前からとっても聞きたかったので(活動を少し知っていて)
- ・東さん
- ・東ちづるさん講演
- ・東さん
- ・東さんの大ファン
- ・まぜこぜ
- ・なわばり的な社会、会社(セクショナリズム)がよくあるが、タテ、ヨコのまぜこぜ(昭和的、村社会的)の世がいいなど思ったから
- ・以前から「東ちづるさん」の活動に関心があったから
- ・東さんの(一社)での活動について知りたかった
- ・タイトルに興味を持ったから
- ・講演を聞きたかった
- ・東ちづるさんに会ってみたかった
- ・東ちづるさんの講演が聞きたかった
- ・東さんの講演 ボランティアに興味アリ
- ・まぜこぜ社会に関心あり
- ・女優東ちづるのドラマ(テレビと映画)などを観て感銘を受け、ファンの一人として関心があり、講演会に行く気になった
- ・講演会で話を聞くこと
- ・東ちづるさんの講演と我が子が自閉症のため
- ・友人に誘われ東さんは俳優だけでなくこんなに充実したことをされていると感じた

- ・講演者に興味があったから
- ・講演会の内容
- ・講師に惹かれて
- ・多様性を認める社会での働き
- ・東ちづるさんの講演会

●人財の森目的(13)

- ・①人財の森とは？ ②東ちづるさんは何を話すのか？
- ・事業についてもう少し知りたかった 東さんの話を聞いてみたかった
- ・知人が登録していて興味があり話を聞いてみたかった。
- ・地域社会にもっと溶け込みたいと思い参加しました。自分から近づいていかないと進んでいかないと感じました。
- ・地域活動に関心があります
- ・地域デビューに興味があったから
- ・「シニアのための脳トレピアノ」「ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会」
- ・地域参加
- ・地元のことを知りたい
- ・居場所づくりに興味があったため
- ・小平での活動に関心があった
- ・地域活動への参考に
- ”・様々なボランティア活動をしてフレイル予防・認知症予防に努めていますが、あと一歩…?と考えていたところに大変参考になる講座でした。”

●その他(7)

- ・手話がつくので話が見たかった(聞いたかった)
- ・「行くか行かないか」迷っていてやっぱり参加してみました。ゆえに動機は？です。
- ・少しでも何か学びたかったです
- ・家族から知らされた
- ・時間があったから
- ・知らない団体名と東ちづるさんの講演とは何を！
- ・訳わからんで参加した

6. 本日の事業説明会・講演会について、ご感想、ご意見等がありましたらお書きください。

- ・映像を交えながらの講演会 素晴らしかったです
- ・明日からの元気をいただきました
- ・素晴らしかったです
- ・東ちづるさんの講演会もとても良かったです
- ・参加して良かったです
- ・東さんの話は良かったです
- ・やはり人の経験知識に
- ・とても良かったです。知らない事いっぱいでした(東さんの講演会)次回も楽しみにしています
- ”・東ちづるさんのパワフルさ、深くて芯の通った知性、明晰さ、素晴らしい活動に感動しました。

自分もサロンづくり叶えていきたいと思います”

- ・こういった講演の場をお願いします
- ・いい企画 また聞きたい
- ・よかった
- ・感謝
- ・すばらしい
- ・もやもやとしていたものが形になったと思います
- ・とてもよい機会をいただき感謝しています
- ・良い時間であった参加して良かった
- ・いろいろ知れて良かった
- ・人財の森について知ることが出来て良かった
- ・小平市の活動は参考になりました(所沢在住)
- ・当事業のことを初めて知り、大いに参考になりました
- ・夫の老々介護中で今日はショートに入った為参加できました
- ・色々な「まぜこぜ」なのに聞こえない者を考えていない。もう少し配慮してほしい
- ・訳わからん話し退屈した。時間勿体ない？

7. 今後、人財の森事業に関するご要望等がありましたらお書きください。

- ・小平市がすばらしい活動をされていることよく解りました
- ・求めているサークル等もっと知る方法があるといい
- ・またこのような企画をしていただけたらうれしいです
- ・期待しています。優しい社会活動、人と人との継りの手法の具現化を
- ・今後さらにご活躍されるよう期待します
- ・ありがとうございました。

資料4 小平市民活動支援センターあすぴあ利用評価調査結果

1. 調査概要

(1) 調査目的

小平市民活動支援センターあすぴあで実施する指定管理事業のPDCAマネジメントサイクルに反映するため、利用登録団体を対象にしたアンケートにより利用評価を得る。

(2) 実施

アンケートは、下表に示す内容で実施した。

表1 実施概要

実施者	NPO 法人小平市民活動ネットワーク
対象	あすぴあ利用登録のうちメールあり126団体(2023年12月末現在)
時期	2024年1月16日(火)～28日(日)
方法	利用登録団体へ調査協力依頼をメール一斉配信 団体による Google フォーム入力 締め切り前の備忘案内メール 1 回あり
項目	①団体の基本属性 ②利用登録制度の評価と手続きについて ③市民参加による事業運営について ④会議室・印刷室の利用評価について ⑤あすぴあ通信の評価について ⑥あすぴあメルマガの評価について ⑦市民活動ガイドブック「むすぶ」の評価について ⑧こだいら人財の森の利用評価について ⑨相談窓口の利用評価について ⑩職員対応の評価について
回収	47団体(回収率37%)
集計	単純集計(回答コンファームなし)

2. 調査結果

(1) 団体の属性

回答を得た利用登録 47 団体の発足年代、主な活動場所、ふだんの活動人数については、以下の結果である。

団体の 8 割近くが 2000 年以降に発足しており、1998 年の NPO 法(特定非営利活動促進法)の施行を契機に法人や任意を問わず市民活動団体が全国的に増えた傾向と重なる(図 1)。

主な活動場所(複数回答)を見ると、市の公共施設が最も多いが、それに加えてあすびあ会議室、元気村おがわ東の会議室等、市内の福祉施設などもあり、その他の具体的な活動場所も含めて、市内に2つ以上の活動場所を持っている様子がうかがえる(図 2、表 2)。

活動人数は 6 人～10 人が最も多く、次いで 11 人～20 人となる。1 人～5 人の団体を含めて見ると、10 人以下の規模で活動する団体が 5 割を超える(図 3)。

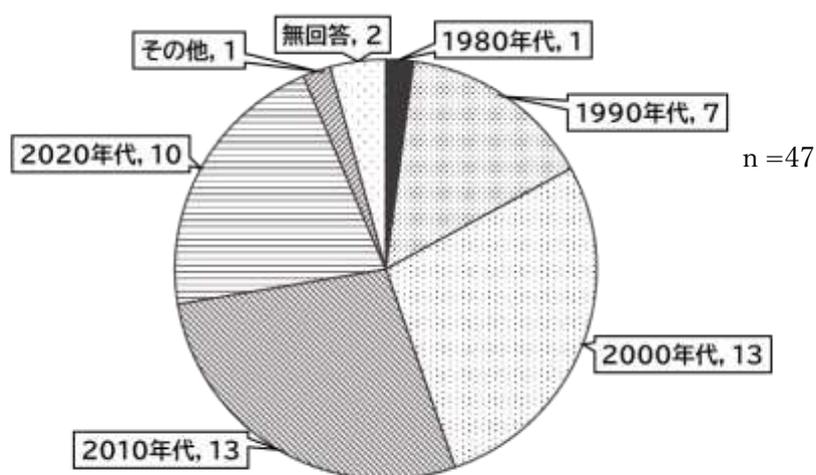


図 1 団体の発足年代

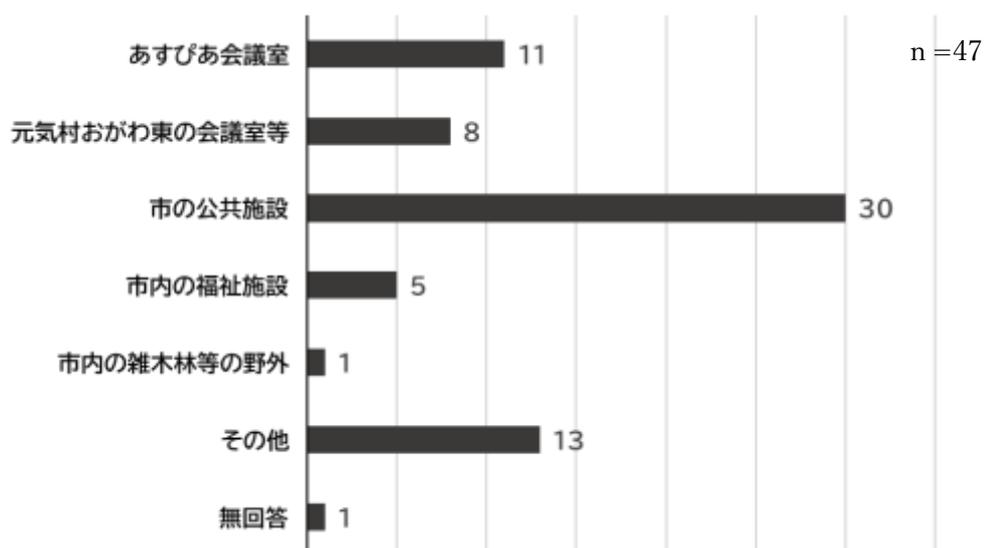


図 2 団体の主な活動場所(複数回答)

表2 その他の活動場所

・ ことばのアトリエ	・ 市内小学校、都立特別支援学校
・ 中央公園	・ 市内の法人事務所
・ きつねっばら公園子どもキャンプ場	・ 訪問介護の利用者宅
・ ケアタウン小平	・ 団体本部(市外)
・ 賃貸の部屋	

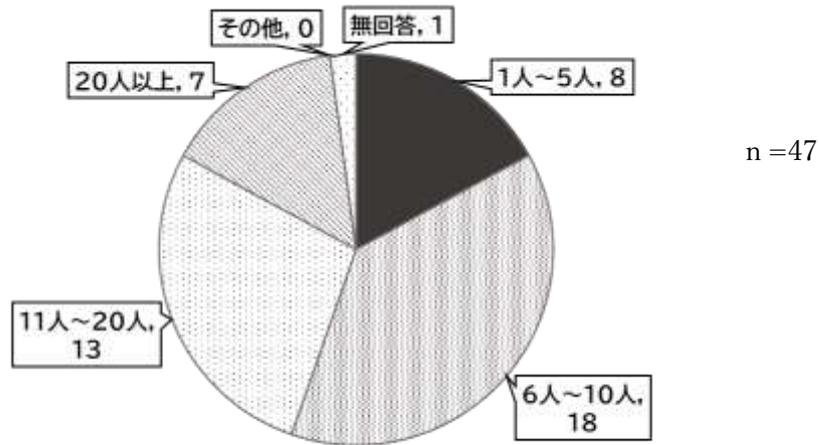


図3 団体活動に関わる人数

(2) あすぴあの利用登録の評価

団体があすぴあの施設やサービスを利用するには、登録する必要がある。そのことについて、登録の理由、登録したことの評価、登録期間の認知、変更届の認知を尋ねた。

①利用登録の理由

利用登録する理由は、複数回答で「さまざまな市民活動情報を知りたいので」28 団体が最も多く、次いで「以前から登録している」「会議室を使いたい」が続く。

登録理由の第一位に挙がっている市民活動情報を知りたい理由のほか、あすぴあ通信の利用も理由に挙がる。そのことから、情報の取得が利用登録する第一義的な理由になっている団体があると解釈できる。

会議室利用に関連する「Wi-Fi が使える」「パソコン・プロジェクターなどの機材が使える」理由は、あすぴあの売りである。会議室をよく利用している団体は、ICT 関連の団体が多く、それらの団体にとってあすぴあ会議室は利便性の高い場所になっていると言える。

また、「会議室を予約しやすい」理由について見ると、あすぴあ会議室を利用する団体を実績ベースで見ると、月に10 団体前後で固定されており、競争率は高くない。よく利用する常連団体にとって、あすぴあ会議室は公民館に比べて比較的予約が取りやすい状況が、「会議室を予約しやすい」理由になっていると推察できる。

「以前から登録している」は、受動的な理由とも言えるが、上で挙げた理由により登録を止める積極的な事由がない裏返しとも解釈できる。

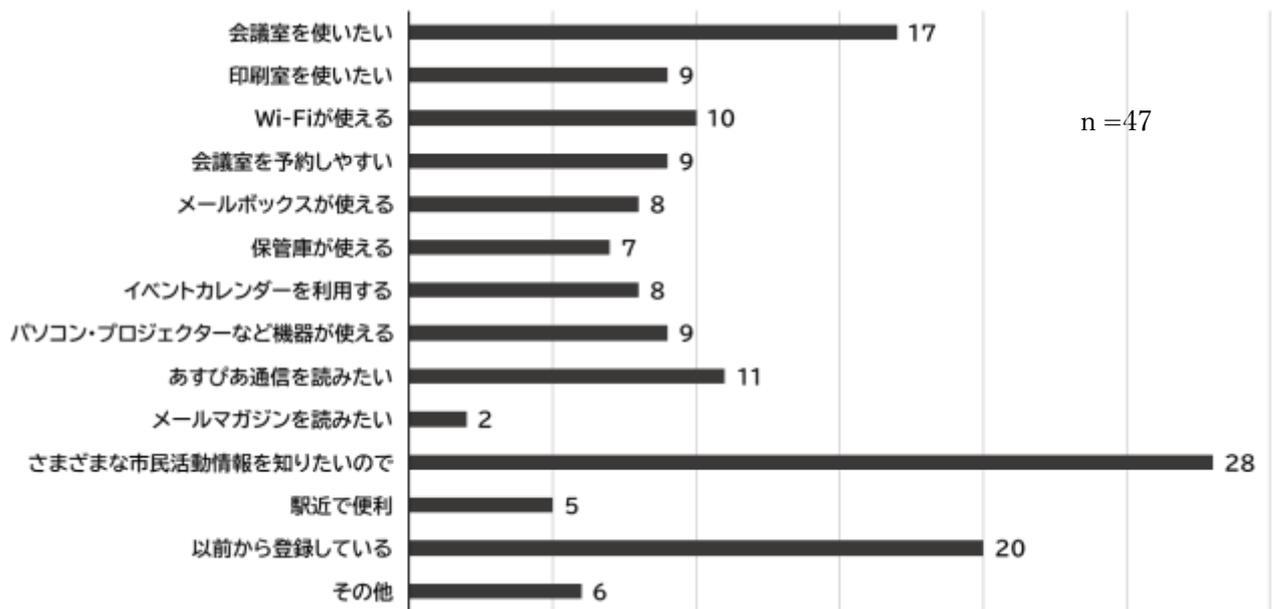


図 4 利用登録する理由

②利用登録の評価

利用登録したことの評価を見ると、「活動に役立っている」と「やや役立っている」を合わせて 7 割を超えている。情報取得や会議室利用などの理由による利用登録が、その団体の活動に貢献していると言える。

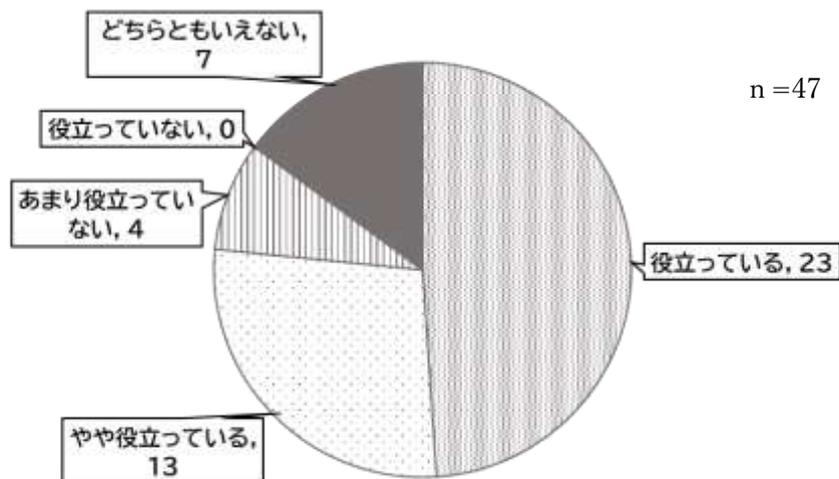


図 5 利用登録の評価

③利用登録の有効期間と変更届の認知

利用登録の有効期間が、登録した年度から 3 年間ということを知っている団体は 24 団体、知らない団体が 23 団体と半々である。

登録手続きの際に、団体へ手引書を渡しながらか説明しているが、有効期間を忘れていた団体が半数いる状況は問題である。登録が失効すると利用登録の理由で見たような便益を団体が得られなくなり、団体の活動に影響してくると懸念する。3 年ごとの更新手続きは団体の利益に関わるものとの認識を定着させることが重要である。

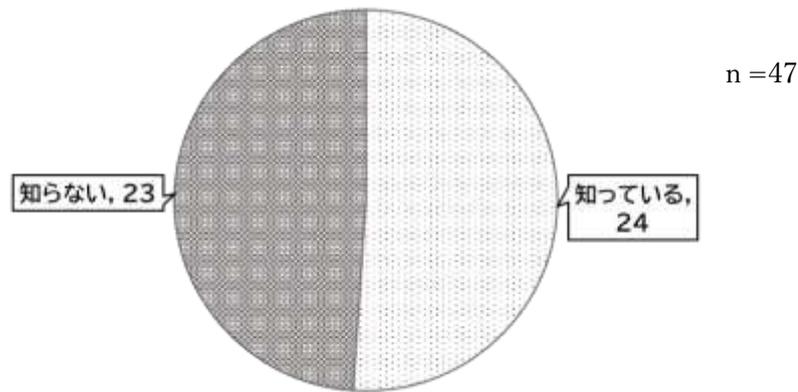


図 6 利用登録の有効期間の認知

一方で、団体の名称、代表者、連絡者が変わった場合、変更届を提出することを知っている団体は 40 団体となり、その点については周知がいきわたっている。ただし、知らない団体が少数おり、利用登録を適切に運用するうえで周知を徹底させる必要がある。

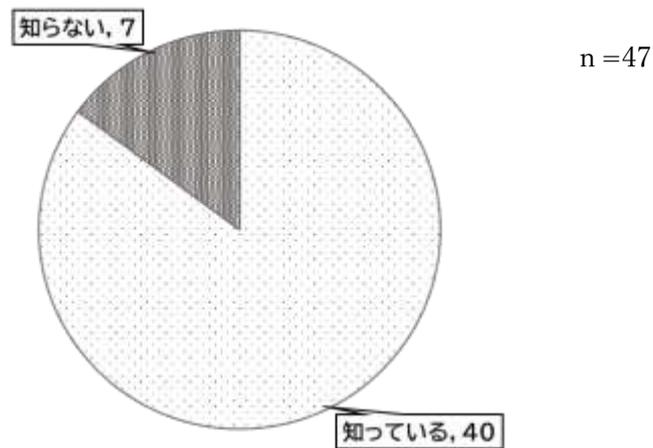


図 7 変更届の認知

(3) 市民参加の認知

あすぴあの指定管理事業では、市民活動パワーアップ講座、あすぴあ通信、元気村まつり、活動団体のデジタル化など、市民活動支援をイベント部会、広報部会、フェスタ部会、デジタル部会の 4 部会で年間計画により実施している。その最大の特色は、市民が市民の活動を支える理念の下、市民が部会員としてボランティアで企画運営している点にある。

そのことを「よく知っている」36 団体、「聞いたことがある」10 団体、「知らない」1 団体である。

8 割近い団体が、市民活動支援を市民参加で実施していることを認知しているが、利用登録団体ならば、その認知率が 100%となるように周知することが大切である。

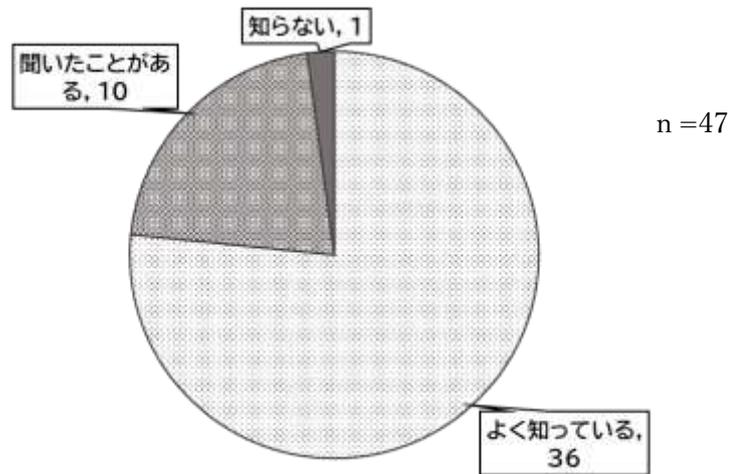


図 8 市民参加の認知

(4) 会議室および印刷室の利用

①利用状況

会議室や印刷室の4月から12月までの利用状況を見ると、「その間に2～3回ほど」9団体、「月1回ほど」7団体、「月3回以上」4団体で、合わせて20団体が利用している。

会議室や印刷室を利用する団体は、利用登録の理由に、会議室や印刷室を使いたい、Wi-Fiが使える、会議室が予約しやすい、パソコン等の機器を使いたいを挙げている団体が殆どで、利用登録の理由が利用状況につながっていると認められる(表3)。

一方、「利用していない」が26団体となる。施設を利用していない団体には、利用登録の理由に「さまざまな市民活動情報を知りたい」「あすぴあ通信を読みたい」を挙げている団体が多く含まれており、施設利用よりも情報取得を主としていることが、利用状況に表れていると言える(表4)。

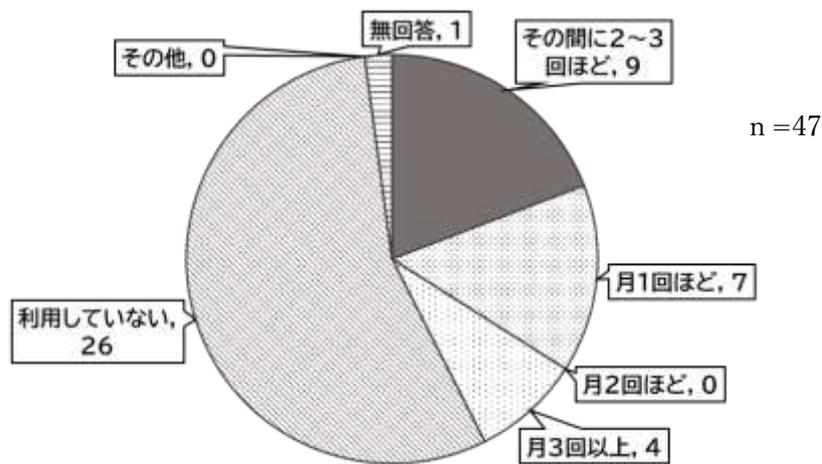


図 9 会議室や印刷室の利用

表 3 会議室等の利用と登録理由(施設関連)

	会議室を使 いたいの ので (17 団体)	印刷室を使 いたいの ので (9 団体)	Wi-Fiが使え るので (10 団体)	会議室を予 約しやすい ので(9 団体)	機器が使える ので (9 団体)
会議室や印刷 室を利用してい る(20 団体)	13 件	6 件	10 件	8 件	6 件

表 4 会議室等の利用と登録理由(情報関連)

	さまざまな市民活動 情報を知りたい ので (28 団体)	あすぴあ通信を読 みたいので (11 団体)
会議室や印刷室を利用 していない(26 団体)	19 件	9 件

4 月から 12 月の 9 か月間で 2~3 回の利用を「ライトユーザー」、月 1 回~2 回を「ミドルユーザー」、月 3 回以上(8 回上限)を「ヘビーユーザー」と区分すると、会議室の利用実績(12 月末時点)では、「ライトユーザー」11 団体、「ミドルユーザー」15 団体、「ヘビーユーザー」3 団体である。会議室の利用は、団体の活動量や形態に影響されるので、3 区分ごとにその点を分析し、需要の伸びしろがあるかどうかを検討する問題意識が大切だと考える。

②利用評価

会議室や印刷室の利用にかかる満足状況を見ると、会議室では「満足」と「やや満足」を合わせて 18 団体、印刷室では「満足」と「やや満足」を合わせて 9 団体が、満足としている。

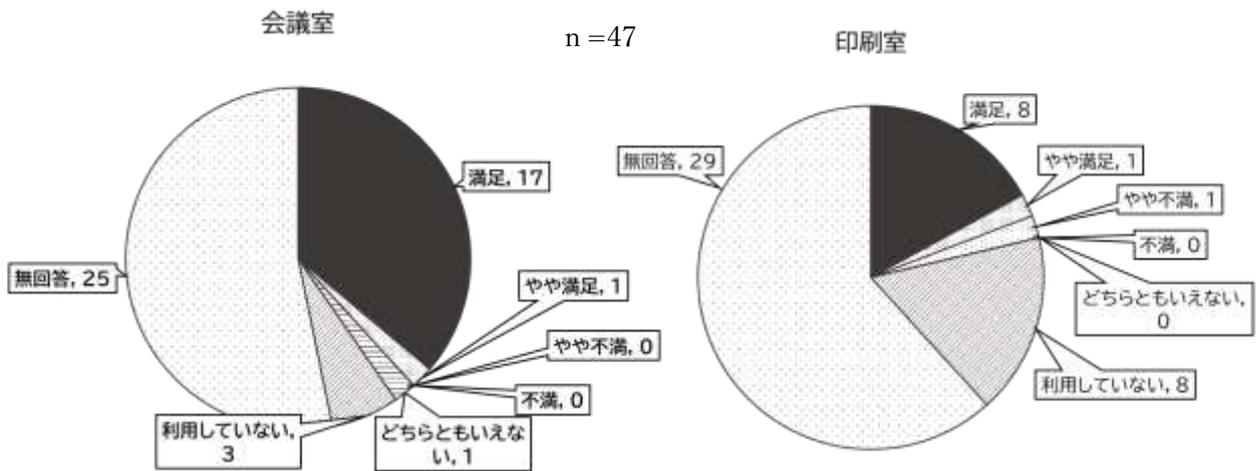


図 10 会議室や印刷室の利用満足

会議室の利用に満足している団体における利用登録の理由を見ると、「Wi-Fi が使える」「パソコン等の機器が使える」が殆どであるところから、それらが満足の要因になっていると推察できる(表 5)。

表 5 会議室の利用満足と登録理由

	Wi-Fiが使えるので (10 団体)	機器が使えるので (9 団体)
満足(18 団体)	10 件	7 件

(5) あすぴあ通信の利用

①利用状況

あすぴあ通信(A4 判 4 頁)は、今年度 6 月末、9 月末、12 月末の 3 回発行し、利用登録団体へ送付している。それを「3 回とも読んでいる」が 37 団体で、8 割近い団体が毎回あすぴあ通信を読んでいる。

その団体における利用登録の理由を見ると、「あすぴあ通信を読みたいので」や「さまざまな市民活動情報を知りたいので」を挙げている団体となり、それらの理由があすぴあ通信の利用状況に反映されていると言える(表 6)。

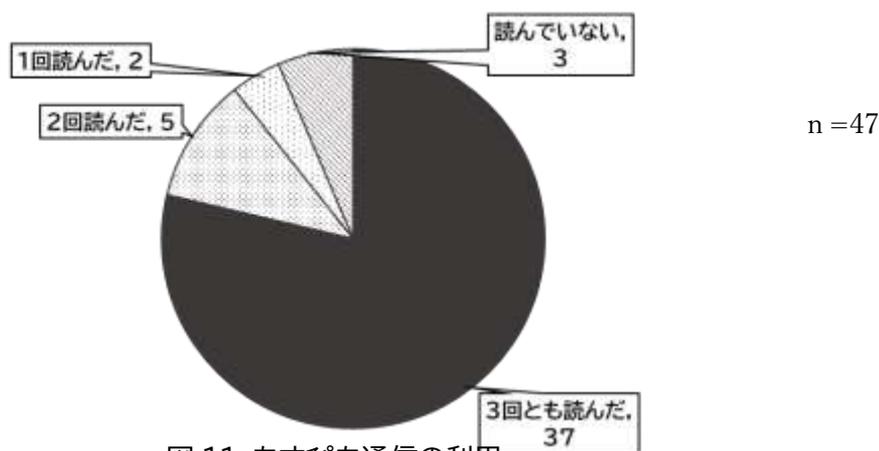


図 11 あすぴあ通信の利用

表 6 あすぴあ通信の利用と登録理由

	あすぴあ通信を読みたい ので(11 団体)	さまざまな市民活動情報 を知りたいので(28 団体)
毎回読んでいる(37 団体)	10 件	24 件

②利用評価

あすぴあ通信を読んでいる 44 団体に対して、あすぴあ通信の情報が役立っているかの評価を見ると、「役立っている」15 団体、「やや役立っている」20 団体で、8 割の団体が肯定的に評価している。

あすぴあ通信の掲載情報が団体に役立っている点は判ったが、今後のあすぴあ通信の在り方を考えるうえで、団体にとって役立つ情報は何かを検討し、「やや役立っている」評価が「役立っている」評価に変わっていく情報提供に努めることが大切である。

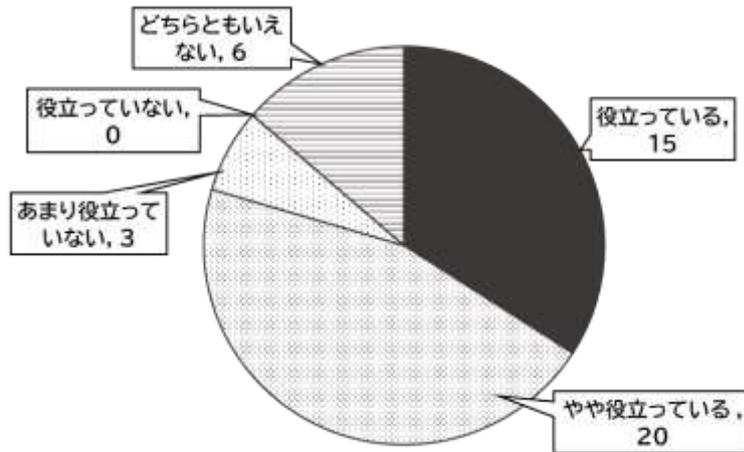


図 12 あすぴあ通信の評価

(6) あすぴあメルマガの利用

①利用状況

毎月末に利用登録団体宛にあすぴあメルマガを配信している。それを「毎回読んでいる」20 団体、「たまに読む」25 団体となり、ほとんどの団体がメルマガを読んでいる。

利用登録の理由で「さまざまな市民活動情報を知りたいので」を挙げている団体が、メルマガを読んでいることが判る(表 7)。

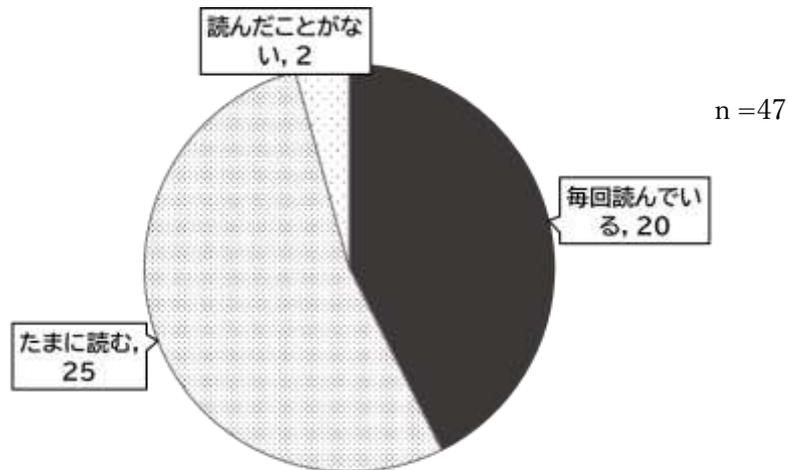


図 13 あすぴあメルマガの利用

表 7 あすぴあメルマガの利用と登録理由

	さまざまな市民活動情報を知りたいので(28 団体)
読んでいる(45 団体)	27 件

②利用評価

あすぴあメルマガを読んでいる 45 団体に対して、メルマガ情報が役に立っているかの評価を見ると、「役に立っている」10 団体、「やや役に立っている」20 団体で、6 割超える団体が肯定的に評価している。

毎月発行のメルマガが団体に役立つ情報となっている点は判ったが、今後のメルマガの在り方を考え

るうえで、団体にとって役立つ情報は何かを検討し、「やや役立っている」評価が「役立っている」評価に変わっていく情報提供に努めることが大切である。

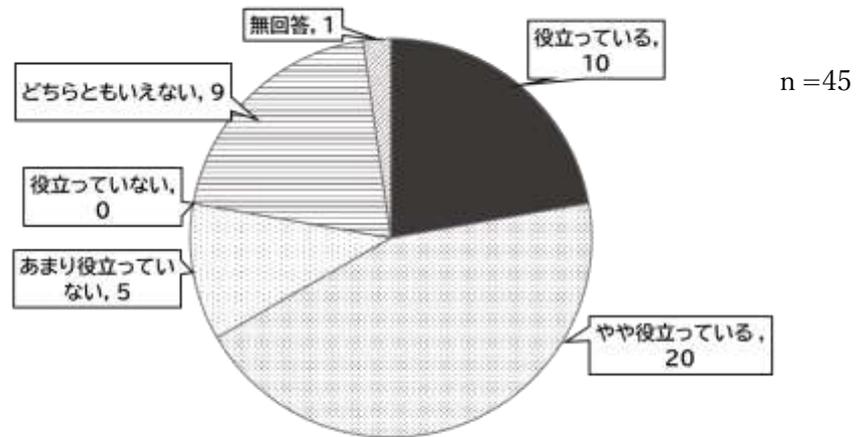


図 14 あすびあメルマガの評価

(7) 市民活動ガイドブック「むすぶ」の利用

市内の活動団体を掲載した市民活動ガイドブック「むすぶ」について、それを利用した市民の問合せやボランティア希望の状況を見ると、「ある」が 14 団体、「ない」が 23 団体となる。また、「むすぶに掲載していない」が 4 団体、「わからない」が 5 団体となる。

「むすぶ」は、市民が活動団体を知るきっかけを提供する媒体として、市内の公共施設はじめ各所に配布している。その「むすぶ」の市民利用を促す策を講じることが課題である。

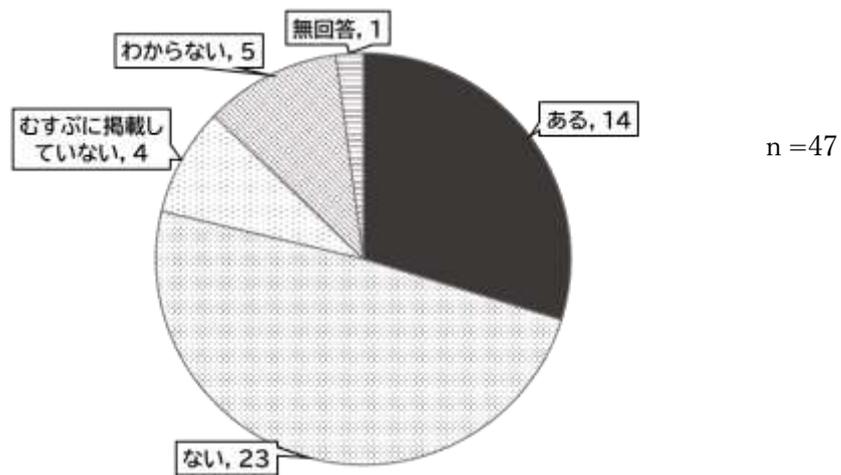


図 15 むすぶの利用

(8) こだいら人財の森の利用

①利用状況

人財の森のページをあすぴあウェブサイトのトップページに掲示しているが、4月から12月の間におけるその利用状況を複数回答で見ると、「利用していない」34団体、「こだいら人財の森を知らない」3団体である。

一方、人財の森のページを利用している10団体は、マッチング状況や個人登録情報の閲覧、イベントカレンダー利用、団体登録で利用している。

人財の森のページ利用が少ないのは、人材の森事業の活性化に関わってくる話だと考える。ページ利用が少ないのは、その需要がそもそも低いのか、ページの使い勝手に問題があって利用されていないのか、その点を把握する必要がある。



図 16 人財の森ページの利用

②利用評価

人財の森ページを利用している10団体について、その評価を見ると、図17のとおりである。

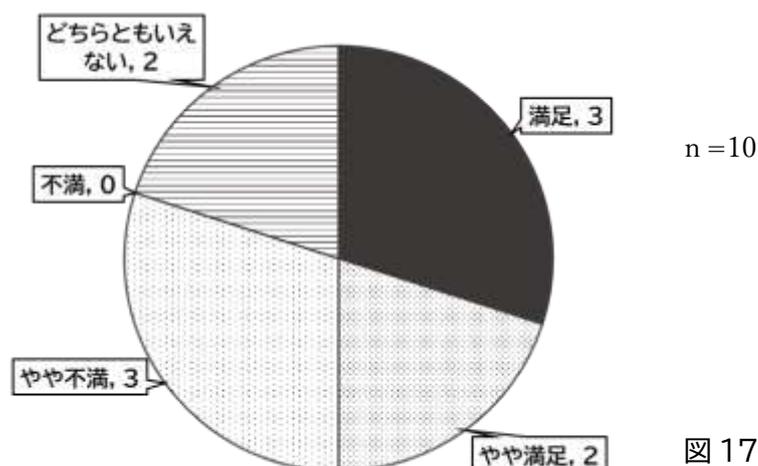


図 17 人財の森ページの評価

(9) あすぴあの相談窓口の利用

①利用状況

職員が活動団体の相談に応じる体制となっているが、4月から12月の間におけるその利用状況を複数回答で見ると、「利用していない」34団体で、利用している場合は、「施設利用や情報などの問合せで利用」10団体となる。

一般的に中間支援における相談業務は、情報発信や講座をはじめとしたさまざまな支援事業の基本となる業務である。その相談利用が少ないのは、そもそも相談需要が少ないのか、あすぴあの相談業務が団体へ知られていないのか、理由を把握することが大切である。

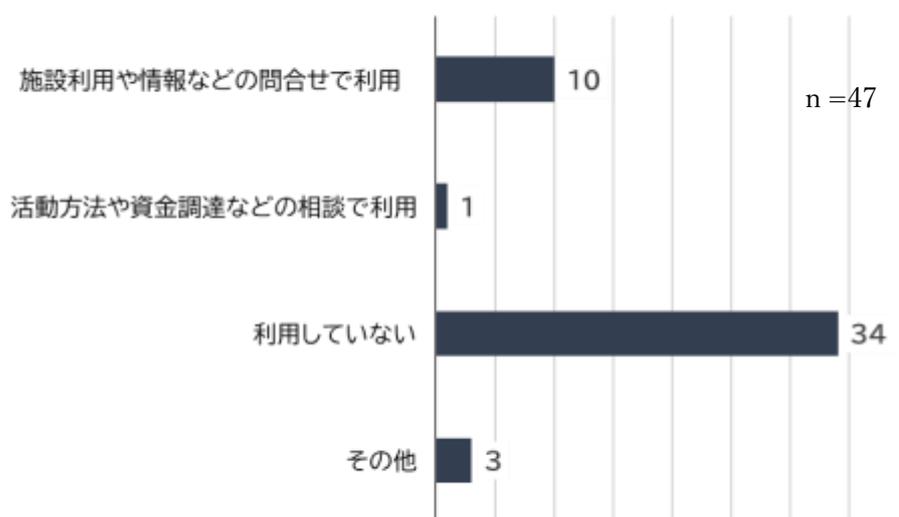


図 18 相談窓口の利用

②利用評価

相談窓口を利用した13団体について、その評価を見ると、「満足」10団体であり、概ね好評である。問合せが主な利用であるが、評価の結果から団体の問合せに応えていると言える。

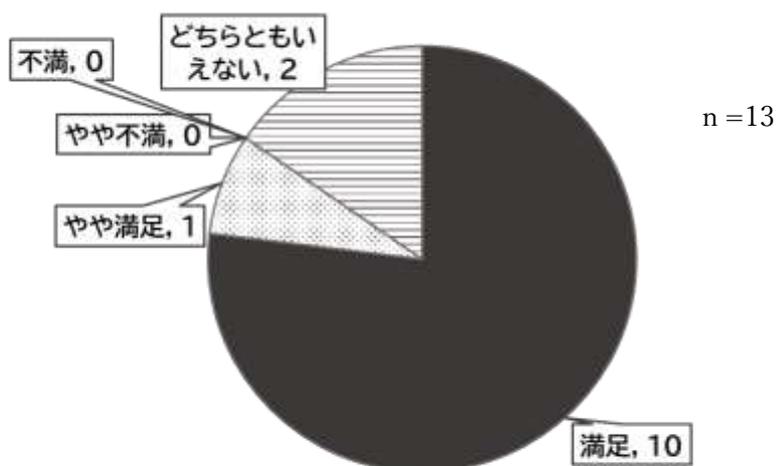


図 19 相談窓口の評価

(10) あすぴあ職員の窓口や電話での対応評価

あすぴあでは9時から17時までの間、日勤職員が会議室の問合せや利用申込、主催イベントの問合せなどに窓口や電話で対応している。その対応の評価を見ると、「満足」28 団体、「やや満足」9 団体となり、おおむね好評である。

窓口や電話を利用する人は、団体もあれば個人もある。窓口や電話の内容は、会議室利用やイベント申込など目的が明らかな事案、どこへ照会すれば判らない曖昧な状態でとりあえずあすぴあへ来たような事案などがある。先の相談業務も含めて、そうした事案に対して職員が適切に応じられる能力や知識を持つことが、満足評価を維持もしくは高めるうえで大切である。

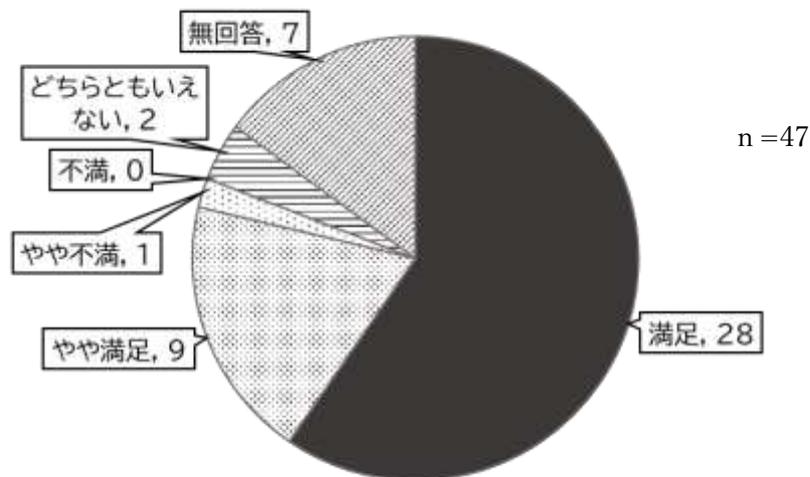


図 20 窓口や電話の対応評価

(11) その他

主な自由記述を以下に記す。

表 8 主な自由記述

- パワーアップ講座など面白い視点の講座があるので、楽しみにしています。
- 月例活動は中央公民館なので利用はしていませんが、元気村祭り含めて参加。
- ボランティア参加を期待するのですが、集まりません。
- 人材の森には関心あるのですが、登録できておらず
- 運営する方の年齢が高いこと。また運営の人件費が安いことも課題だと思います。
- 各団体の発表会を定期的に行われてはいかがでしょうか。特に新規登録団体。
- 小学生にも大人と同じような対応してくれるので、子どもたちの意識が高まりました。
- あすぴあ記載のイベント参加回答に、電話にて連絡をとるが、電話ではなくメールにても返信できれば出欠が確認出来る。
- 男女共同参画の視点も持って、これからも事業運営を続けてください。
- 準備期間から関わり、インターネット環境が整い、印刷室も充実。職員の対応も細やかで、気持ちよく利用できています。この環境が小川の移転先に継続されることを切に望みます。
- アクティブな活動姿勢に好感があります。

- 主な活動がボランティアベースの活動とは知りませんでした。会議室の予約や利用もしやすく、元気村まつり参加は有意義でした。